

2 0 2 4 年 度

事 業 報 告 書

(自) 2 0 2 4 年 4 月 1 日

(至) 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 北海道リハビリー

目 次

1	事業概況	1
2	決算概況	2
3	事業実施状況（拠点別）	8
3-1	法人本部	
3-2	クリーニング事業本部	
3-3	リハビリー・クリーナース	
3-4	リハビリー・おおぞら	
3-5	クリーニング事業部	
3-6	リハビリー・エイト	
3-7	美しの森	
3-8	セルプさっぽろ／ウェルプラザやまはな	
3-9	エルフィンホーム／地域福祉推進室	
3-10	ポプルス	
4	地域に向けた社会貢献の取り組み状況	44
4-1	地域における公益的な取り組み	
4-2	その他の地域貢献活動	
5	理事会・評議員会等	47
6	職員研修等	51
7	行事・事業等	55
8	施設見学の受け入れ状況	62
9	職場実習の受け入れ状況	63
10	施設設備整備実施報告	64
11	組織図	67
12	利用者・職員の在籍状況	68

1. 事業概況

2024年度は法人の新たな第6期中期計画の初年度となりました。新中期計画では現在の堅調な事業展開をさらに強化した上で、生産年齢人口の急激な減少による人手不足に対応するため、「組織は人に尽きる。働き手からも、利用者からも『選ばれる北海道リハビリへの飛躍』を目指す」ことを大方針に掲げました。

選ばれる法人となるためには、職員のさらなる処遇改善が必要です。北海道リハビリとしては異例のことになりましたが、24年春には通例の定期昇給ではなく、契約職員を含めた全職員の基本給を一律12,000円引き上げるベースアップを行いました（正職員の昇給率5.85%）。また特定処遇改善手当や臨時特例手当の支給も継続しました。さらに新卒や中途採用者の初任給も引き上げました。こうした措置は当然ながら人件費の増高に繋がりますが、政府主導で毎年、最低賃金が大幅にアップしている状況をふまえ、当法人としても利益の範囲内でなるべく人件費に手厚く配分していく方針を今後も堅持したいと考えています。もちろんそれを支えるための営業力の強化、生産性の向上、コスト削減等を引き続き進めていく必要があります。

処遇改善を進めたとしても、人手不足はやはり深刻です。そのためあらゆる手段を駆使して採用の窓口を広げる努力を続けました。たとえばこれまで看護師など専門職に限定していた中途の正職員採用を一般職にも広げ、24年度は5名が入社しました。また健康で働く気があれば、何歳まででも働ける法人を目指し、70歳以上の高年齢者の採用活動にも力を入れました。新卒採用も多様なチャンネルを活用し、2名を採用することができました。さらに外国人労働者や刑務所出所者の採用についても検討を始めました。今後も「魅力ある職場作り」「プロ集団としての福祉力の向上」「省力化をねらった合理的な設備投資」「地域との繋がりの強化」など、あらゆる手段を使って人手不足に対応していきたいと考えています。

こうした状況の中で、2024年度の法人経営は職員や利用者の頑張りによって前年度から引き続き堅調に推移し、特にクリーニング事業は大型ホテル閉館の影響が懸念されましたが、全体的なホテル稼働率の上昇や粘り強い値上げ交渉等の効果が表れ、2年続けて売上げが過去最高を記録する結果となりました（17億5004万円）。また春の障害福祉サービスに関する報酬改定の内容をふまえ、提供するサービスの充実を図ることで福祉収入を増やすことができました。その結果、法人全体のサービス活動増減差額は約1億2282万円の黒字（予算比331%）、資金面でも当期資金収支差額は約4977万円が積み上がりました。石油高騰などインフレ状態が続く、経済状況は不透明な部分もありますが、この力強い流れを2025年度にも繋げていきたいと考えています。

2. 決算概況

1. 財務状況

(1) 法人単位の財務状況 (2024年4月1日~2025年3月31日)

貸借対照表	資産合計	負債合計	純資産合計	純資産比率
	千円	千円	千円	
2025年3月末 (前年度末比)	4,671,390 (+63,172)	1,564,188 (△11,205)	3,107,202 (+74,378)	66.5% (+0.7ポイント)
2024年3月末	4,608,217	1,575,393	3,032,825	65.8%

(2) 資産、負債及び純資産に関する説明

① 資産の状況

流動資産は、前年度末比 128,849 千円増(8.9%増)の 1,573,838 千円となりました。主として、現金預金が 97,660 千円、原材料が 24,859 千円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前期比 65,677 千円減(2.1%減)の 3,097,552 千円となりました。設備投資による資産増よりも既存資産の減価償却が進行したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前年度末比 63,172 千円増(1.4%増)の 4,671,390 千円となりました。

② 負債の状況

流動負債は、前年度末比 56,247 千円増(9.7%増)の 634,516 千円となりました。主として、事業未払金が 56,971 千円・所内預金が 8,153 千円それぞれ増加、未払消費税が 10,792 千円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前年度末比 67,452 千円減(6.8%減)の 929,672 千円となりました。主として、設備資金借入金が 87,830 千円減少、退職給付引当金が 19,818 千円増加したことなどによるものです。

この結果、総負債は、前年度末比 11,205 千円減(0.7%減)の 1,564,188 千円となりました。

③ 純資産の状況

純資産は、前年度末比 74,378 千円増(2.5%増)の 3,107,202 千円となりました。サービス活動が堅調に推移したことにより当期活動増減差額(当期純利益)を 119,292 千円計上したこと等によるものです。

自己資本比率は前期の 65.8%から 66.5%に上昇し、財務の健全性を保持しています。

【経営の安全性等に係る主な指標】			
流動比率	248.0%	固定比率	99.7%
当座比率	133.8%	負債比率	50.3%
手元流動性比率	3.6 ヶ月	自己資本比率(純資産比率)	66.5%

2. 経営成績

(1) 法人単位の事業活動収支 (2024年4月1日~2025年3月31日)

【事業活動収支計算書】				単位：千円
	区分／科目	2024 年度	2023 年度	前期比
サービス活動	サービス活動収益計	2,949,432	2,843,711	103.7%
	サービス活動費用計	2,826,613	2,736,297	103.3%
	【サービス活動増減差額】	122,819	107,414	114.3%
サービス活動外	サービス活動外収益	5,058	8,897	56.8%
	サービス活動外費用	8,757	8,709	100.5%
	サービス活動増外増減差額	△3,699	188	-1965.6%
【経常増減差額】		119,120	107,602	110.7%
特別増減	特別収益計	782	5,394	14.5%
	特別費用計	610	19,322	3.2%
	特別増減差額	172	△13,928	201.2%
【当期活動増減差額】		119,292	93,674	127.3%

(2) 事業活動収支に関する説明

① サービス活動増減の部

サービス活動収益は、前年比 105,721 千円増(3.7%増)の 2,949,432 千円となりました。主として、クリーニング事業が回復基調で推移したことにより就労支援事業収益が 21,069 千円・1.2%増加したことや、報酬改定等により障害福祉サービス等事業収益が 85,772 千円・8.2%増加したことによるものです。

サービス活動費用は、前年比 90,316 千円増(3.3%増)の 2,826,613 千円となりました。主として、処遇改善による福祉人件費が 52,941 千円・7.8%増加したことや、電気料金・資材等の高騰により、就労支援事業費用が 31,215 千円・1.8%増加したことなどによるものです。

この結果、サービス活動増減差額は、前年比 15,405 千円増(14.3%増)の 122,819 千円となりました。

② サービス活動外増減の部

サービス活動外収益は、前年比 3,839 千円減(43.2%減)の 5,058 千円となりました。主なものとしては、保有する社債等の利息 3,274 千円を受取利息配当金収益に計上しました。

サービス活動外費用は、前年比 48 千円増(0.5%増)の 8,757 千円となりました。主なものとしては、クリーナース・おおぞらの施設整備資金借入金の返済利息 4,869 千円を支払利息に計上しました。

この結果、サービス活動外増減差額は、前年比 3,887 千円減(2065.6%減)の△3,699 千円となりました。

経常増減差額は、前年比 11,518 千円増(10.7%増)の 119,120 千円となりました。

③ 特別増減の部

特別収益は、前年比 4,612 千円減(85.5%減)の 782 千円となりました。主なものとしては、エイトの居室用窓エアコン設置に対する萬田記念財団補助金 610 千円を施設整備等補助金収益に計上しました。

特別費用は、前年比 18,712 千円減(96.8%減)の 610 千円となりました。前述の補助金 610 千円と同額を国庫補助金等特別積立金積立額に計上しました。

この結果、特別増減差額は、前年比 14,100 千円増(101.2%増)の 172 千円となりました。

以上により、当期活動増減差額は前年比 25,618 千円増(27.3%増)の 119,292 千円となりました。

厳しい経営環境ながら、本業のサービス活動が堅調に推移したことから、前年実績及び当期予算を上回る利益を計上しました。

(3) 法人単位の資金収支 (2024年4月1日~2025年3月31日)

【資金収支計算書】				単位：千円
	区分／科目	2024 年度	当年度予算	予算比
事業活動	事業活動収入計	2,954,747	2,891,193	102.2%
	事業活動支出計	2,645,920	2,695,676	98.2%
	【事業活動資金収支差額】	308,827	195,517	158.0%
施設整備等	施設整備等収入計	735	65,085	1.1%
	施設整備等支出計	239,255	332,466	72.0%
	【施設整備等資金収支差額】	△238,520	△267,381	110.8%
その他の活動	その他の活動収入計	14,415	1,050	1372.9%
	その他の活動支出計	34,952	20,646	169.3%
	【その他の活動資金収支差額】	△20,538	△19,596	95.2%
【当期資金収支差額】		49,770	△91,460	254.4%

※資金収支は会計基準に基づき予算との対比で表示しています

(4) 法人単位資金収支に関する説明

① 事業活動による収支

事業活動収入は、予算比 63,554 千円増(2.2%増)の 2,954,747 千円、事業活動支出は、予算比 49,756 千円減(1.8%減)の 2,645,920 千円となりました。

収入増と支出減により、事業活動資金収支差額は、予算比 113,310 千円増(58.0%増)の 308,827 千円となりました。

② 施設整備等による収支

施設整備等収入は、予算比 64,350 千円減(98.9%減)の 735 千円となりました。主として、スプリンクラー補助金 43,700 千円が不採択になったことや、当初予定していたクリーニング設備補助金 19,385 千円の申請を、事業内容の変更に伴い見送ったことなどによるものです。一方で、エイトの居室用窓エアコン設置に対する萬田記念財団補助金 610 千円を施設整備等補助金収入として計上しました。

施設整備等支出は、予算比で 93,211 千円減(28.0%減)の 239,255 千円となりました。

主として、美しの森のスプリンクラー工事（78,100 千円）の見送りなどによるものです。

主なものとして、クリーナース及びおおぞらの施設整備資金借入金元金償還額 87,830 千円を支出計上しました。また、法人本部のエアコン一式（7,590 千円）、イベントテント 20 張（3,775 千円）、エイトの厨房用エアコン一式（2,120 千円）、セルプの冷暖房設備更新（18,509 千円）、クリーナースのピロケース投入機等（49,508 千円）、おおぞらのトンネル式乾燥機等（30,883 千円）など、計 150,121 千円を固定資産取得支出に計上しました。なお、本年度は設備整備に係る資金借入は行いませんでした。

当初予定していた美しの森のスプリンクラー工事が見送りとなったことや、入札の執行等により固定資産取得支出が低減したことから、施設整備等資金収支差額は、予算比 28,861 千円増(10.8%増)の△238,520 千円となりました。

③ その他の活動による収支

その他の活動収入は、予算比 13,365 千円増(1272.9%増)の 14,415 千円、その他の活動支出は予算比 14,306 千円増(69.3%増)の 34,952 千円となりました。

当期購入した札幌市令和 6 年度第 6 回公募公債グリーンボンド 10,000 千円を投資有価証券取得支出に計上しました。

この結果、その他の活動による資金収支差額は、予算比 941 千円減(4.8%減)の△20,538 千円となりました。

以上により、当期資金収支差額は、予算比 141,230 千円増(154.4%増)の 49,770 千円となりました。

計画を上回る事業活動収入を確保したことに加えて、事業費支出・事務費支出・就労支援事業支出の抑制が図られたことや、設備整備の入札により固定資産取得支出を低減することができたことなどから、計画を上回る資金を計上することができました。

3. 拠点別の業績

(1) 拠点別の事業活動の状況 (2024年4月1日~2025年3月31日)

【事業活動収支 拠点内訳】						単位：千円
区分／科目	クリーナース	前期比	おおぞら	前期比	エイト	前期比
就労支援事業収益	693,010	102.8%	1,032,620	99.9%	－	
福祉事業収益	166,787	102.3%	199,097	110.7%	257,793	113.6%
サービス活動収益計	859,797	102.7%	1,231,717	101.5%	257,793	113.6%
サービス活動増減差額	47,784	124.3%	65,899	75.1%	15,680	147.7%
経常増減差額	45,714	124.3%	63,644	73.6%	15,988	136.2%
当期活動増減差額	45,786	127.3%	63,746	85.5%	16,074	158.1%

区分／科目	美しの森	前期比	セルフさっぽろ/やまはな	前期比	エルフィン	前期比
就労支援事業収益	11,400	103.8%	86,437	103.3%	－	－
福祉事業収益	224,430	104.7%	175,771	112.5%	101,377	101.0%
サービス活動収益計	235,830	104.6%	262,208	109.3%	101,377	101.0%
サービス活動増減差額	21,755	105.4%	35,582	324.9%	△4,808	-750.2%
経常増減差額	21,930	100.5%	35,706	301.6%	△4,808	-746.0%
当期活動増減差額	22,013	96.4%	35,965	286.2%	△4,808	-740.8%

区分／科目	ポプルス	前期比	収益事業	前期比
就労支援事業収益	－	－	－	－
福祉事業収益	12,264	110.0%	3,587	85.7%
サービス活動収益計	12,264	110.0%	3,587	85.7%
サービス活動増減差額	△229	177.6%	431	30.9%
経常増減差額	△229	176.8%	431	30.9%
当期活動増減差額	△229	176.8%	431	30.9%

(2) 拠点の事業活動に関する説明

① リハビリー・クリーナース (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業では、閉館した大型老舗ホテルに替わる物件として新規ホテル2件のリネンサプライを受託したほか、観光需要の回復によるホテルリネン・ホテル産業品類の取扱量の増と値上げによる売上増により増収となりました。

福祉事業は、報酬改定による自立支援給付費の増、報酬加算の上位区分取得などにより増収となりました。

② リハビリー・おおぞら (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業では、作業収益は微減しましたが、商品販売の増加により、前年度並みの収益を確保しました。一方、原材料費、リネン品費、商品仕入額等の費用が増加したことにより、営業減益となりました。

福祉事業は、報酬改定による自立支援給付費の増、報酬加算の上位区分取得などにより増収となりました。

③ **リハビリ・エイト（障害者支援施設）**

新規加算の取得に伴う自立支援給付費の増、職員配置加算の上位区分の取得、生活介護事業の開所日数増、延べ利用者数の上昇などにより、福祉事業の収益は増収となりました。

④ **美しの森（障害者支援施設）**

就労支援事業では、パンの製造はイベント販売等の販促活動を続けて前年度並みの売上を計上しました。清掃の施設外就労を含む就労支援事業全体の収益は増収となりました。

福祉事業は、報酬改定による自立支援給付費の増、職員配置加算の上位区分の取得などにより増収となりました。

⑤ **セルフさっぽろ/ウェルプラザやまはな（障害福祉サービス事業所）**

就労支援事業では、縫製・軽作業の受注が回復基調で推移し、増収となりました。

やまはなのクリーニング事業では、直営店舗の売上は前期同水準にとどまったものの、会社産業においては、大型老舗ホテルの閉館による減収を補う新規物件を受託して、増収となりました。

福祉事業は、報酬改定による自立支援給付費の増、報酬加算の上位区分取得等により、つきさむ事業所、やまはな事業所ともに増収となりました。

⑥ **エルフィンホーム（共同生活援助事業／グループホーム）**

報酬改定による基本報酬の構造変更が収益にマイナスの影響を及ぼしましたが、入居者の増や、短期入所の稼働率増などにより、福祉事業収益は微増となりました。

⑦ **ポプルス（特定相談支援事業所）**

報酬改定による基本報酬の引き上げ等により、福祉事業収益は増収となりました。

サービス利用支援及び継続サービス利用支援の取り扱い件数は前年並みで推移しました。

※参考：「自立支援給付費」とは、障害者自立支援法第6条に定義される「介護給付費」「訓練等給付費」「サービス利用計画作成費」などの総称です。

3. 事業実施状況（拠点別）

3-1 法人本部

経営組織のガバナンスの維持、経営の透明性、財務規律等を重視した堅実な法人運営を行うとともに、社会情勢や福祉ニーズに柔軟に対応し、収益性の改善・向上、職員の処遇改善、職員採用の強化など、様々な施策を計画的に実施しました。

2024 年度は、改正障害者支援法が施行され、障害福祉サービス等の報酬改定が行われました。各事業において、制度改定の趣旨を踏まえたサービス提供体制を構築し、報酬の上位区分の取得、新規加算の取得など、障害福祉サービス等収益の安定確保に努めました。

処遇改善の取り組みとして、全職員の基本給を一律に引き上げるベースアップを実施したほか、休日数の増など、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みを継続的に実施しました。

また、リハビリリー・エイトを核とした新たな地域拠点の開設に向けて、地域や北広島市などと意見交換を行い、計画実施に向けて準備を進めました。

① 経営組織のガバナンスの維持と事業運営の透明性の確保に努めました。

- (ア) 評議員会、理事会、監事の役割・権限・責任等において、法人運営に関する基本方針や重要事項を決定するとともに、理事の職務執行状況等を監督するなど、経営組織のガバナンスを維持しました。
- (イ) 内部統制の実効性と財務規律を保持する観点から、監査法人を会計監査人に再任し、会計監査を継続しました。
- (ウ) 監事監査、会計監査人監査、税理士による税務確認を適時に実施し、事業報告・財務報告に対する信頼性の担保と経営の透明性の確保に努めました。また、監査等で指摘された事項については、解決策や対応策を報告したうえで、迅速に実行に移しました。会計監査人監査においては、2024 年度計算書類に対し「無限定適正意見」の表明を受けました。
- (エ) 業務の適正性および効率性を確保するために内部監査人を設置し、各事業所の職務執行状況等について、内部監査を実施しました。監査結果は理事長および経営会議に報告し、所要の対応を図りました。＜7月30日（セルフさっぽろ）／11月20日（リハビリリー・クリーナーズ）／2025年2月28日（エルフィンホーム）＞
- (オ) 法人の経営に重大な影響を及ぼすおそれのあるコンプライアンス違反に該当する事案およびコンプライアンスに関する通報窓口への申し出事案は発生しませんでした。

監査等の実施状況（2024年4月1日～2025年3月31日）		
監事監査	5月16日	業務および会計監査
	5月22日	監事協議会
	9月24日	業務監査（エイト・エルフィン）
	11月25日	業務監査および会計監査（2024年度上半期事業状況・決算概況） 業務監査（クリーナース・おおぞら）
	3月25日	業務監査（セルブさっぽろ・美しの森・ポプルス）
会計監査人監査	4月10日	期末実査
	5月20日～22日	期末監査・理事長ディスカッション・監事コミュニケーション
	9月4日	理事長ディスカッション・監事コミュニケーション
	12月16日～18日	期中監査
税理士税務確認	5月8日	消費税等の税務確認他
	11月7日	消費税等の税務確認他

② 2023 事業検討会議の答申内容の具現化に向けた取り組みを進めました。エイトの空きスペースを活用した事業展開については、エイト新規事業準備室を立ち上げ、年次計画に沿って準備等を進めました。

(ア) エイトの空きスペースを活用した新規事業については、「地域福祉の拠点」として「地域交流スペース」、「機能訓練スペース」、「相談支援事業所」の3機能を有し、世代、障がい分野など対象者を限定しない『誰もが集える場所』として活用することとし、2026年4月からの事業開始を目指します。なお、当該事業においては、令和6年度（2024年度）社会福祉施設等整備補助金（国補正分）申請を行い、73,425千円の交付決定を受けました。

(税込)

整備計画および事業費・財源計画			単位：千円
建築工事費（補助対象）	97,900	国庫補助金	48,950
建築工事費（補助対象外）	1,250	道費補助金	24,475
初度設備費	7,550	自己資金	33,275
計	106,700	計	106,700



③ 福祉事業・就労支援事業の両サービス活動において計画利益を確保するとともに、適正な予算執行により財務の健全性を保持しました。改正支援法と報酬改定の内容を踏まえて、提供するサービスの充実を図り、報酬増につなげました。

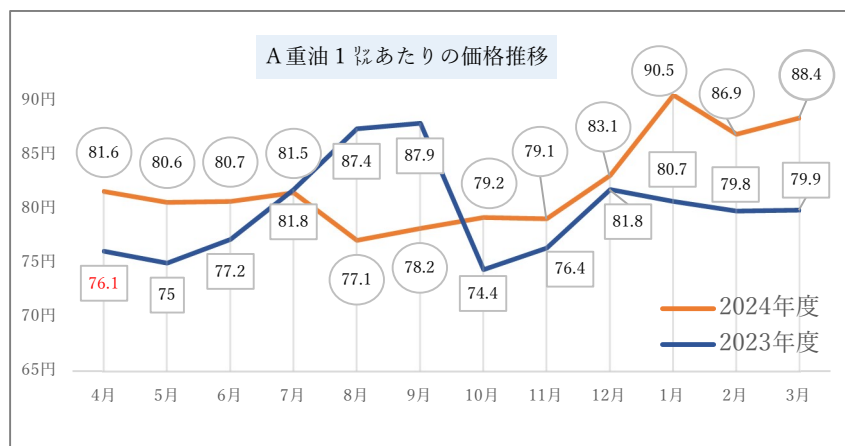
- (ア) 4月に障害福祉サービス等報酬が改定されました。就労継続支援A型事業では、基本報酬の算定におけるスコア方式が見直され、就労継続支援B型事業では、平均工賃月額に応じた報酬体系および算定方法の見直し等がされました。各事業所では、新たな報酬体系に対応するとともに、基本報酬の上位区分および各種体制加算の取得に努めました。
- (イ) 福祉事業・就労支援事業ともに、物価上昇やエネルギー価格の高騰等により、事業費・製造原価等が増高し、経営を圧迫しました。福祉事業は、利用者増と利用率を高める努力を続けて増収を図りました。就労支援事業は、主軸のクリーニング事業において、生産性の向上の取り組みや採算性の低い取引の解消を目指す粘り強い営業活動等を続けて、収支改善を図りました。
- (ウ) 就労支援事業・福祉事業の両活動において目標利益の確保を目指しました。予算執行においては、最小経費で最大効果を上げるよう効率的な事業実施に努め、財務の健全性を保持しました。2024年度のサービス活動増減差額は、+122,819千円（予算比+85,733千円・331.2%、前期比+15,405千円・114.3%）の営業利益を計上しました。
- (エ) 資金収支では、設備整備資金および長期借入金の償還資金の確保と、一定の運転資金を常時保有する資金繰りの下に財務の健全性を保持しました。2024年度の当期資金収支差額は、+49,770千円（予算比+141,230千円・254.4%、前期比△87,643千円・36.2%）の支払資金を計上しました。
- (オ) 設備整備および修繕等は事業計画に基づいて実施しました。入札・契約にあたっては、競争の機会均等の原則に則り、公平性・透明性・経済性等が確保される調達方法により事業を執行し、調達コストの低減に努めました。また、少額整備を含めて民間助成金の活用を検討しました。

入札の執行状況（2024年度実施事業）			
実施部門	(1) クリーニング事業部	(2) クリーナース	(3) クリーナース・おおぞら
事業名	一般クリーニング品工場入庫管理システムの導入事業	ピロケース投入機及びリネン類裏面装置の導入事業	省エネ設備等導入促進事業
入札執行日	2024年4月19日	2024年7月18日	2024年8月7日
契約方法	一般競争入札	一般競争入札	総合評価落札方式による一般競争入札
参加業者	3者	3者	3者
事業予算額	20,000,000円（税込）	36,300,000円（税込）	51,029,000円（税込）
落札金額	18,132,400円（税込）	34,100,000円（税込）	不調
落札率	90.7%	93.9%	—
契約業者	シャープマーケティングジャパン（株）	アイナックス稲本（株）	—
契約締結日	2024年4月26日	2024年7月26日	—
事業完了日	2025年1月31日	2025年2月4日	—
備考	自己資金	自己資金	計画を見直し、下半期に実施

入札の執行状況（2024 年度実施事業）		
実施部門	(4) おおぞら	(5) クリーナース・おおぞら
事業名	省エネ設備等導入促進事業 (トンネル式乾燥機の更新)	省エネ設備等導入促進事業 (乾燥機 100 kg 2 台、トンネル式乾燥機 1 台)
入札執行日	2024 年 10 月 2 日	2024 年 10 月 2 日
契約方法	一般競争入札	一般競争入札
参加業者	2 者	2 者
事業予算額	28,600,000 円 (税込)	33,829,000 円 (税込)
落札金額	27,192,000 円 (税込)	29,700,000 円 (税込)
落札率	95.1%	87.8%
契約業者	(株)東京洗染機械製作所 札幌支店	アイナックス稲本(株)
契約締結日	2024 年 10 月 7 日	2024 年 10 月 7 日
事業完了日	2025 年 3 月 2 日	2025 年 3 月 15 日
備考	自己資金	自己資金

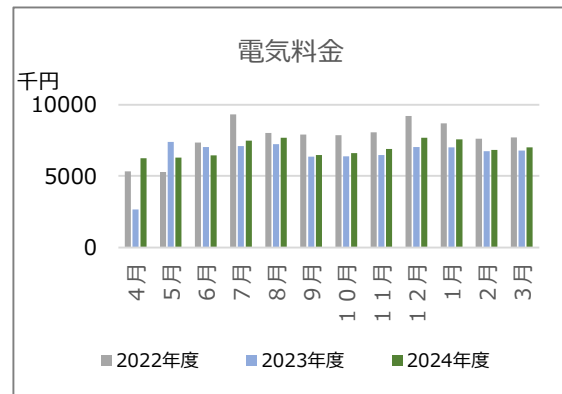
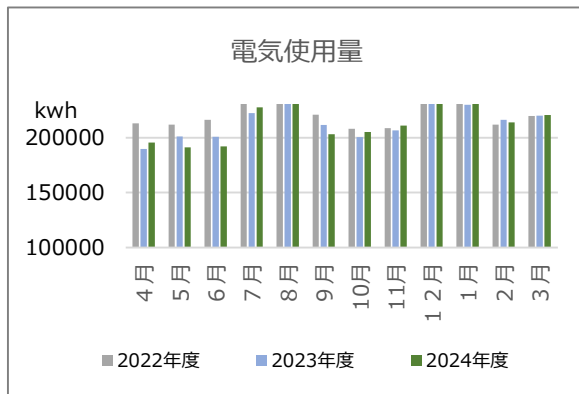
補助金・助成金の申請状況（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）				
申請施設 申請日	申請先および助成事業名	事業内容	事業費 助成金額	申請・採択状況
リハビリ・エイト 2024.4.24	公益財団法人萬田記念財団 身体障害者施設への助成金	利用者用居室冷暖房 設備の設置	3,575,000 円	採択 事業完了
			610,000 円	
セルプさっぽろ 2024.6.25	公益財団法人みずほ福祉助成財団 2024 年度社会福祉助成金	縫製用工業ミシンの更新	1,054,900 円	不採択 10/4 通知
			940,000 円	
リハビリ・おおぞら 2024.7.12	公益財団法人日本財団 福祉車両助成	送迎用車両の更新	3,476,610 円	不採択 12/9 通知
			2,250,000 円	

(カ) 燃料用 A 重油の購入については、指名業者 8 社による入札を月に 2 回実施し、最も低い価格を提示した業者から調達しました。燃料油価格激変緩和補助金が段階的に縮小されましたが、2024 年度の A 重油の平均調達単価は 82.22 円/ℓ（前期比 103.0%）と、前年度平均の 79.84 円/ℓを上回りましたが、予算設定単価の 90.00 円/ℓ内で推移しました。



A 重油使用量と金額						
年度	使用量	前期比	平均単価1 円	前期比	金 額	前期比
2024 年度	2,161.2 kℓ	103.2%	82.22 円	103.0%	177,694 千円	106.2%
2023 年度	2,094.5 kℓ	105.7%	79.84 円	105.3%	166,637 千円	111.0%
2022 年度	1,981.3 kℓ	106.9%	75.83 円	108.1%	150,070 千円	115.5%
2021 年度	1,852.7 kℓ	99.9%	70.16 円	157.1%	129,985 千円	157%
2020 年度	1,854.4 kℓ	81.5%	44.65 円	72.1%	82,798 千円	57.3%
2019 年度	2,331.0 kℓ	100.6%	61.90 円	65.8%	144,294 千円	95.7%

- (㊦) 電気契約は、2024 年 5 月から北海道電力(株)との長期契約による割引が適用されている。
2024 年度の 2024 年度の平均電力単価は、電気・ガス価格激変緩和対策事業の断続的な措置や燃料費調整単価が改定されたことにより、1 kwh あたり 32.45 円（前期比 107.3%）と、前年度平均の 30.25 円/kwh を上回りましたが、予算設定価格の 33.0 円/kwh 内で推移しました。



電 気 料 金									単位：円
年度	4月～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	前期比
2024 年度	40,585,501	6,598,269	6,898,826	7,687,017	7,564,973	6,813,822	6,995,200	83,143,608	106.5%
2023 年度	37,687,880	6,381,455	6,472,909	7,020,675	6,994,257	6,734,988	6,790,188	78,082,352	84.6%
2022 年度	43,180,466	7,850,739	8,060,384	9,199,018	8,680,059	7,598,621	7,700,225	92,269,512	135.1%

- ④ 職員給与の昇給について、インフレの進行等を受けて実質賃金が減少している状況に鑑み、職員・契約職員・嘱託職員の基本給与を一律に引き上げるベースアップを実施しました。また、体系が一本化された「福祉・介護職員等処遇改善加算」を取得しました。

(ア)「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」を原資として、6月に特定処遇改善手当を支給しました。

特定処遇改善手当の支給状況				
支給区分		手当年額	支給者数	支給総額（実支給額）
Aランク	経験・技能のある福祉職員	247,000 円	17 人	4,199,000 円
Bランク	他の福祉職員	117,000 円	48 人	5,616,000 円
Cランク	その他の職員	57,000 円	89 人	5,061,600 円
支給額計			154 人	14,876,600 円
特定処遇改善加算の取得済額				14,774,416 円

(イ)「福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算」を原資として、月毎に「臨時特例手当」を支給しました。急激な物価上昇に対応するため、インフレ手当見合いとして、基本額に 3,000 円を上乗せして支給しました。

臨時特例手当の支給状況		
支給月額（基本額）	対象者数（3月現在）	支給総額（実支給額）
8,000 円（上乗せ分 3,000 円含む）	264 人	21,683,200 円

(ウ) 職員、契約職員、嘱託職員の給与改善について、給与昇給制度に基づく通常の定期昇給によらず、全職員の基本給を一律に 12,000 円引き上げるベースアップを実施しました。

昇給および給与額の状況	
基本給の平均昇給率	■職員 5.85% 契約・嘱託職員 6.28%
時間外勤務手当を除く 1 か月の平均給与額	■職員 277,623 円 契約・嘱託職員 228,739 円

- ⑤ 人材の確保育成に向けた取り組みとして、給与処遇の改善、新卒・中途採用の強化、高年齢者の雇用をはじめとした人事施策を講ずるとともに、外国人労働者の活用を検討しました。

(ア) 社会福祉士などの国家資格取得を目指す学生の実習を積極的に受け入れました。また、法人内の複数の事業所で実習を受け入れるため、介護福祉士・精神保健福祉士の実習指導者講習を受講しました。

（実習受け入れ実績 11 名：社会福祉士 1 名 介護福祉士 4 名 保育士 6 名）

（実習指導者研修修了者 4 名：介護福祉士 3 名 精神保健福祉士 1 名）

(イ) 将来を担う人材を計画的に確保、育成し、組織の成長と活性化を図ることを目的に、新卒採用に向けた活動を継続しました。2025 年の新卒採用に向けて多様なチャンネルを活用した採用活動を展開した結果、2 名の新卒者を採用しました。また、人材確保の新たな取り

組みとして、専門職に限定していた正職員の中途採用枠を一般職の中途採用枠として採用する取り組みを始めました。

- ・主な採用活動：インターネット就職ポータルサイト「マイナビ 2025」の活用
法人 HP に採用情報を掲載（マイナビとリンク）
学校訪問、合同企業説明会、学内説明会、法人内説明会 など
- ・加盟している「北海道インターンシップ推進協議会」の事業を通じて、福祉に関心を持つ学生のインターンシップを受け入れました。（2名 美しの森）
- ・一般職の中途採用枠として正職員 5 名が入社しました。
（エイト、エルフィンホーム、クリーナース、おおぞら、法人本部）

(ウ) 人材育成、キャリア形成、業務の効率化、離職率の軽減を図ることを目的として、エルダー・メンター制度を法人全体の仕組みとして導入しました。

(イ) 健康で働く気があれば、何歳まででも働ける法人となることを目的に、高年齢者（70 歳以上）の採用活動を積極的に行いました。

（採用実績：3 名 エルフィンホーム 2 名、セルプさっぽろ 1 名）

(オ) 将来的な人材不足に対応するため、外国人労働者「特定技能：介護」の受け入れについて登録支援機関から雇用情勢等に関する情報収集を行いました。また、法務省が実施する、刑務所出所者の自立および社会復帰を目的とした「協力雇用主」の登録を行いました。いずれも 2025 年度内の受け入れを目標に制度理解、受け入れ環境の整備など、引き続き検討を進めていきます。

⑥ 新型コロナウイルスの感染対策を継続しました。感染症状の取り扱いやまん延防止状況等を踏まえて、感染症対策マニュアル、事業継続計画（以下「BCP」という。）を適時見直しました。また、大規模災害や感染症クラスターの発生に備えて、BCPに基づく教育・訓練を実施しました。

(ア) 職員・利用者に感染リスクが及んだ場合には、抗原定性検査キットを用いて検査を行い、施設内感染リスクの低減に努めました。

(イ) 感染症に係る特別休暇の弾力的運用、感染リスクが高い業務に従事した職員に対する特殊業務手当の支給などの労務措置を引き続き講じました。

臨時的な労務措置の適用状況		
措 置 等	適用者数	適用日数
感染者に対する特別休暇の付与	108 人（実数）	358 日
特殊業務手当の支給	41 人（実数）	213 日（639 千円支給）

(ウ) 総合防災対策委員会を開催し、防災対策の実施状況や防災計画の確認等を行うとともに、各事業所において防災訓練を実施しました。また、大規模災害が発生した際に、要配慮者が安心して避難生活が送れるように、福祉避難所の開設シミュレーションを実施しました。

(イ) BCPの実効性を高めるために、エイトと合同でBCPに基づく訓練（安否確認・参集訓練/20名参加）を実施しました。訓練を通して得られた課題や改善点を対応手順等に反映させ、BCPをブラッシュアップしました。

(オ) 新型コロナウイルス感染者の発生状況

2024 年度は、法人全体で 177 名（職員 85 名・利用者 92 名）が新型コロナウイルスに感染しました。

新型コロナウイルスの発生状況（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）			
施設／部門	職員	利用者	計
リハビリー・クリーナース	5 人	9 人	14 人
リハビリー・おおぞら	7 人	22 人	29 人
リハビリー・エイト	9 人	19 人	28 人
エルフィンホーム	8 人	14 人	22 人
セルプさっぽろ/やまはな	14 人	16 人	30 人
美しの森	13 人	12 人	25 人
クリーニング事業部	17 人	－	17 人
法人本部	12 人	－	12 人
計	85 人	92 人	177 人
累計感染者数（2020 年 4 月～2025 年 3 月）	243 人	292 人	535 人

⑦ 法人各施設の主要な業務について、I C T 化を進めました。デジタルツールを積極的に取り入れて、業務負担の軽減、業務の精度・効率・生産性の向上を図るとともに、情報の共有活用の利便性を高めました。

(ア) 2023 年度に本格運用を開始した一体管理型クラウドシステム「jinjer（ジンジャー）」において、段階的に運用を進めてきたワークフローシステムを 2024 年 5 月から全社運用に切り替えました。勤怠・就業管理システムについては、現在、ベンダーがシステム調整を行っていることから、今後の改善状況に合わせて運用拡大を検討します。

(イ) 給与明細書等の電子交付システム「Edge Tracker（エッジトラッカー）」について、法人本部を対象に試験運用を行ってきましたが、システムの安全性が確認できたため、すべての事業所を対象に順次導入していきます。

（地域福祉推進室・クリーニング事業部 6 月支払～／クリーナース・おおぞら 7 月支払～）

(ウ) クリーニング事業部の一般クリーニング工場入出荷システムの導入において、法人の I C T 担当者が関係部門と連携して、運用方法などのサポートに努めました。

(エ) 介護職員の負担軽減、介護サービスの質の向上、安全性の向上等を目的に、介護ロボットの導入について検討を開始しました。2026 年度の本格導入を目指して、I T 補助金の活用も含めて準備を進めます。

主なシステム等の導入状況	所管課	運用開始時期
販売管理システム（クリーニング・印刷）	ク事業部	2022 年 10 月
バックオフィスシステム（ジンジャー） ＜経費精算・ワークフロー・勤怠管理＞	全事業所	2023 年 4 月
電子請求書発行システム（楽楽明細）	経理課	2023 年 8 月
請求書代理受領システム（Bill One）	経理課	2023 年 8 月
給与明細等の電子交付システム	人事課	2023 年 10 月
一般クリーニング品工場入庫管理システム	ク事業部	2025 年 4 月

⑧ 働きやすい職場環境の形成とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを継続しました。

(ア) 年次有給休暇の取得促進を図るため、取得勧奨や計画的付与を促すための希望聴取を行いました。2024年度の有給休暇取得率は77.9%（前期比103.9%）となり、目標の70%以上を達成することができました。

(イ) 育児休業および介護休業に関する理解促進を図るための説明・広報を適時に行い、制度活用を呼びかけました。また、休業給付等の公的支援の受給手続きを適切に行いました。

<2024年度の取得状況：育児休業4名、産前産後休業3名、産後パパ育休0名、介護休業0名>

(ウ) 年間休日数の増について、既に目標の109日に到達している事業所がある一方で、事業内容や業務体制の違いから目標に達していない事業所があるため、勤務時間や休憩時間の変更、シフトの見直しを行い、休日数の積上げを行いました。

	クリーナース	おおぞら	ク事業部	エイト	エルフィン
2024年度休日数	103日	103日	109日	109日	109日
前年度からの増数	1日	1日	△1日	+5日	△1日
	セルプさっぽろ	やまはな	美しの森	ポプルス	法人本部
2024年度休日数	109日	109日	109日	109日	109日
前年度からの増数	△1日	△1日	+1日	△1日	△1日

(I) 超過勤務について、各部門で削減および抑制に努めた結果、前期比で△947.7時間(89.1%)の削減につながりました。引き続き長時間労働の抑制に努めていきます。

事業所	年度	合計	事業所	年度	合計
クリーナース	2024	2033.0	エルフィンホーム	2024	676.0
	2023	3405.0		2023	495.0
	増減	△1372.0		増減	+181.0
おおぞら	2024	600.8	法人本部	2024	303.5
	2023	409.5		2023	241.5
	増減	+191.3		増減	+62.0
クリーニング事業部	2024	1234.2	事業所合計	2024	7712.0
	2023	1550.0		2023	8659.7
	増減	△315.8		増減	△947.7
エイト	2024	1477.5			
	2023	1234.8			
	増減	+242.7			
美しの森	2024	960.0			
	2023	865.0			
	増減	+94.5			
ポプルス	2024	254.0			
	2023	347.5			
	増減	△93.5			
セルプさっぽろ やまはな	2024	173.0			
	2023	111.5			
	増減	+61.5			

⑨ 多様化・複雑化する福祉・介護ニーズに対応し、将来にわたって質の高い福祉サービスを継続的に提供する人材を確保・育成するため、スキルアップ・キャリアアップに資する研修を就労と福祉の垣根を越えて実施しました。

(ア) 福祉事業においては、障がい特性の理解促進、福祉サービスの向上、相談支援や介護技術等の専門技術の習得に係る研修に職員を参加させました。就労支援事業においては、生産性・技術力・品質・安全衛生等の向上のほか、営業力や販売促進の強化に資する研修に職員を参加させました。労務・安全衛生等に関しては、災害対策、労務管理、メンタルヘルス等に関する研修に職員を参加させました。

(イ) 法人主催の内部研修として、新任職員・中堅職員・管理職・部門長を対象とした階層別研修を実施したほか、対人スキル、利用者支援の質の向上などを目的に、コミュニケーション活性化研修を実施し、延べ 73 名の職員が参加しました。

＜法人内部研修の実施状況＞

研修名	参加者数	テーマ
新任職員研修	9 人	キャリアデザイン
中堅職員研修	13 人	文章力向上
管理職研修	15 人	部下育成と組織力強化
部門長研修	9 人	風通しの良い職場づくり
コミュ活研修（2 回実施）	27 人	アングーマネジメント、モチベーション向上
合 計	73 人	

(ウ) 事業継続と施設運営の中核を担う人材を養成するため、専門資格を取得する機会を提供しました。＜サービス管理責任者（実践 1 名、基礎 2 名、意思決定支援 1 名）、相談支援従事者（初任者 2 名）、社会福祉主事任用資格（4 名）、強度行動障害者支援者養成研修（実務者 3 名、基礎 13 名）＞

(エ) 障害者虐待防止および身体拘束等の適正化に関する法人指針に基づき、全ての施設職員を対象に、虐待防止と身体拘束防止に関する研修を実施しました。

(オ) 資格取得や自己啓発を促すためのインセンティブの付与やキャリア形成を促進するための人事施策（特定処遇改善手当の変更など）について、2025 年度に実施できるよう検討を進めました。

(カ) 若手職員の意識改革、福祉理論と実践を学ぶとともに、福祉業務において必要となる知識やスキルを習得し、法人の将来を担う人材を育成することを目的とした「福祉塾」を開講しました。＜第一期生：10 名＞

⑩ **利用者集増の取り組みとして、法人本部配置の施設利用支援コーディネーターと拠点
が連携して営業活動等を展開しました。**

- (ア) 利用者の集増活動を行う専任担当者「施設利用支援コーディネーター」が、支援学校や関係機関を訪問し、施設のPRや情報の提供、新グループホームの入居者募集、施設見学や体験利用を誘致するなどの営業活動を行いました。＜訪問学校数 79 校、施設見学 31 件・実習 21 件・新規利用 10 名（うち、2025 年度 4 月利用開始 3 名）＞
- (イ) WEBによるPRツールとして、ホームページ上で疑似的な施設見学を行う「施設見学動画」の制作を進めました。また、支援学校卒業の利用者の生活や作業の様子を紹介した「リハビリー便り」を作成して出身校に発信するなど、学校との連携強化に努めました。
- (ウ) 利用者の入退所状況について、高等支援学校や相談支援事業所との連携や施設利用支援コーディネーターによる積極的な働きかけなどにより、新たに 25 名が施設利用を開始しました。一方で、障がいの重度化や高齢化に伴う入院・他施設への転所、一般就労への移行、家庭環境の変化などを理由に、43 名が退所しました。

新規利用等の状況（2024 年 4 月～2025 年 3 月）			
施 設	新規利用	退 所	増 減
リハビリー・クリーナース	6 人	5 人	+ 1 人
リハビリー・おおぞら	3 人	8 人	△5 人
リハビリー・エイト	1 人	5 人	△4 人
エルフィンホーム	1 人	1 人	0 人
セルフさっぽろ・ウェルブラザやまはな	8 人	8 人	0 人
美しの森	6 人	16 人	△10 人
計	25 人	43 人	△18 人

⑪ **SDGs の「持続可能な社会と地域共生社会の実現」の趣旨を踏まえて、地域における公益的な活動を実践しました。**

- (ア) 持続可能な共生社会の実現に向け、地域における公益的な取り組みや地域貢献活動を継続しました。取り組み状況については、法人ホームページで公表したほか、法人広報誌・法人SNSを活用して情報発信しました。
- (イ) 北広島西高校の「キタニシプロジェクトⅡ」（3 年生を対象に、観光・福祉・教育の三分野を中心に西の里の施設の体験・ボランティアに積極的に参加する活動）において福祉をテーマとした学習・実習の機会を提供しました。リハビリー・エイトでの福祉体験（利用者交流、入浴介助・食事介助見学等）のほか、北海道リハビリー夏まつりのボランティアとして 25 名が参加しました。

(ウ) 地域交流行事・施設開放行事の「第 48 回北海道リハビリー夏まつり」は、多くの利用者、職員、家族、地域住民の方が来場し、盛大に開催することができました。

地域に向けた社会貢献の主な取り組み
① 生活困窮者自立支援法に基づく認定就労訓練事業の実施 ② 災害時に福祉避難所を開設（北広島市と福祉避難所の設置等に関する協定を締結） ③ 地域の社会資源等とのネットワークづくり～自立支援協議会、地域たすけあい会議、北広島市認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業、障害支援区分認定審査会（札幌市・北広島市）北広島市保健福祉計画検討委員会等への参加 ④ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた取り組み ⑤ 地域の小中高校の総合学習授業への職員派遣 ⑥ 施設周辺環境美化活動の実施、地域清掃活動、交通安全街頭啓発活動への参加 ⑦ 地域の学校からのインターンシップや施設見学等の受け入れ ⑧ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催 ⑨ 法人全施設に A E D を設置。A E D ステーション等として登録し地域へ提供 ⑩ 救急医療用ドクターヘリの離着陸場として施設構内を提供 など

⑫ 互いに尊重し合える風通しの良い職場環境づくりを目指しました。上司と部下・同僚間・部門間等のコミュニケーションの活性化を図り、従業員のモチベーションやエンゲージメントを高めて、生産性の向上につなげました。

(ア) 風通しの良い職場とはどのような環境であるべきかを正しく理解し、職場改善するために、管理職として必要な意識・取り組みについて学ぶことを目的に、部門長研修を実施しました。また、部下育成と組織力強化を目的に課長職を対象に管理職研修を実施しました。

(イ) 部下との信頼関係を築き、心理的安全性の向上、モチベーションの維持・向上、部下の成長支援を目的に個人面談シートに基づいた管理者と職員の「1on1面談」を実施しました。

(ウ) グループウェア（Skype）や法人内 S N S などを活用し、法人内のコミュニケーションの活性化、情報共有、業務連絡・緊急時連絡などの効率化を図りました。

⑬ 苦情相談の受付状況

福祉サービスに係る利用者からの苦情受付事案はありませんでした。

⑭ 虐待（疑い） 相談の受付と対応状況 1件

概 要	
事案発生日	2024 年 8 月 31 日（相談受付日）
当事者	① 女性利用者（34 歳 女性） 美しの森 就労継続支援 B 型事業（施設外就労で清掃作業に従事） エルフィンホーム入居 ② 男性職員 （25 歳 男性） リハビリー・クリーナース 生活支援員
相談内容	男性職員から体を触られるなどの不適切な行為をされた
法人対応 （主な対応）	虐待防止委員会の開催（全 8 回実施） ・行政への通報（虐待の疑い） ・内部調査の実施 ・利用者の安全確保と配慮 ・職員への措置 ・再発防止策 ほか
通報先 （行政機関）	・平取町（女性利用者の実施機関）※調査実施機関 石狩振興局、札幌市、北広島市
経 緯	女性利用者から「男性職員に体を触られた」との相談が生活支援員にありました。不適切行為および虐待の疑い事案として、即時に虐待防止委員会を招集開催し、協議した結果、「性的虐待の疑いあり」と判断し、直ちに関係行政機関へ通報しました。併せて、女性利用者の安全を確保するとともに、女性利用者の保護者へ状況等を説明しました。 男性職員に事情聴取を行った結果、事実関係を否定しましたが、行政の判断が出されるまでの期間、出勤停止としました。 行政（平取町）による「障害者虐待防止法」に基づく事実確認（聞き取り調査等）が行われた結果、「<u>障害者虐待の事実を認めるには至らない</u>」との判断が示されました。 法人は、行政による調査と並行して、当事者および関係者からの聞き取り、現場検証、男性職員の日常の行動・言動等の確認、防犯カメラの確認など、客観的な事実等を確認するための内部調査を行いました。いずれも虐待と認められる客観的な証拠は確認されませんでした。 虐待防止委員会において、行政判断および内部調査の結果を踏まえ、協議した結果、「<u>虐待は認められなかった</u>」と最終判断を行いました。 この結果を受け、男性職員に対しては、虐待防止に係る教育研修を実施したうえで、女性利用者と接触しないための再発防止策を講じて現職に復職させることとしました。また、女性利用者に対しては、相談体制を強化するとともに、作業中の見守り強化、防犯カメラの設置など、女性利用者の不安感を払拭するための再発防止策を講じました。 これらの再発防止策を女性利用者および保護者並びに関係行政に説明し、いずれにおいても理解を得たため、本件は解決となりました。
再発防止に 向けて	すべての職員に対して、本件の周知徹底を図るとともに、障害者虐待に関する理解や意識向上に向けた教育研修をこれまで以上に実施し、再発防止に努めていきます。また、女性利用者が安心して生活できるよう、生活面、作業面の支援を継続し、見守り体制を強化していくこととします。

3-2 クリーニング事業本部

コロナ禍で厳しい状況にあったホテルリネンサプライ関連事業は、社会経済活動の正常化やインバウンド需要の回復を追い風に堅調に推移しました。

病院寝具リネンサプライ事業は、地域医療のニーズ変化や医療従事者の不足等を背景に病院数・病床数は減少傾向にあります。取引先の病床稼働率はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、概ね堅調に推移しました。一方で2024年度末で胆振管内の総合病院2件との取引が終了することから、これを補うために白衣リース等を新規に受託するなど、事業運営への影響を最小限に抑えるための取り組みを進めました。

市場規模の縮小が進んでいるホームクリーニング事業は、家庭向けクリーニング需要の減少等の影響を受け、取次店の取扱高は低調に推移しました。

こうした中、就労支援事業活動の基軸であるクリーニング事業では、採算性の確保と生産性の向上を目指した営業活動と生産活動を堅実に進めました。

- ① 原材料費・燃料費・物流コスト等の高騰が進んでいることから、製造・販売の両部門において、業務の効率化やコスト削減に努めるとともに、受注価格への転嫁交渉を継続しながら、利益確保を目指しました。

クリーニング事業全体の営業利益（印刷販売を含む就労支援事業活動増減差額）は、計画を上回る+83,637千円（予算比480.7%、前年同月比84.4%）を計上しました。

- ② リハビリ・クリーナースでは、慢性的な赤字体質からの脱却に向けて進めてきた適正価格受注と生産性向上に資する取り組みを継続しました。

5月末で閉館した大型老舗ホテル（客室数300）に替わる物件として、札幌市内のホテル2件（客室数計408）のリネンサプライを受託して収益を確保しました。

- ③ リハビリ・おおぞらでは、既存の病院・施設等との取り引きを基本としつつ、契約更改や閉院、経営変更等による取引先の新陳代謝に対応するため、新規物件の受注や商品販売等の営業活動を継続し、収益確保に努めました。工場では品質管理を強化し、衛生・品質水準のさらなる向上に努めました。

- ④ クリーニング事業関連の設備投資については、中長期的な事業見通しと財務状況等を踏まえて、生産能力を維持するための老朽更新と、省エネ・省人化・生産性向上等に資する設備投資を計画的に行いました。

先進設備等の導入にあたっては、国の「省エネルギー投資促進支援事業費補助金」を活用すべく、実施に向けた準備を進めました。

3-3 リハビリ・クリーナース

利用者一人ひとりが社会参加や社会的自立を実現できるよう、地域の社会資源に関する情報を提供し、個々のニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう取り組みました。

また、社会参加および自立を希望する利用者に対しては、スキルアップの支援として資格取得を奨励し、「クリーニング師」の資格や、コミュニケーション手段の一つとして「手話検定」への挑戦を支援しました。

事業活動を安定的かつ継続的に運営するため、人材の確保にも取り組み、正職員 1 名、契約職員 1 名、パート職員 1 名の計 3 名を新たに採用しました。さらに、人材育成の一環として、各種研修会への参加を推進し、働きがいのある、風通しの良い職場環境の整備に努めました。

就労支援事業においては、取引先の大型ホテルの閉館に伴い、事業の継続性と安定性を維持するため、新たに 2 件のホテルと契約を締結し、作業量および収益の確保に努め、黒字経営の定着を図りました。

(1) 施設運営

- ① 福祉事業および就労支援事業の将来を担う人材を、継続的かつ計画的に育成することを目的として、専門分野ごとの研修会への参加を積極的に推進しました。2024年度は、延べ 328名の職員が研修に参加（外部研修：23名、法人内部研修：305名）し、職員一人ひとりのスキル向上に取り組みました。

また、資格取得の奨励にも力を入れた結果、職員2名が第一種衛生管理者および簿記検定 3級の資格を取得したほか、手話検定4級にも合格しました。

4月に昇格した職員3名と、下半期中途採用された職員1名を対象に、エルダー・メンター制度を活用したサポートを実施しました。これにより、職員のキャリア形成やモチベーションの向上を図り、組織全体の人材育成につなげました。

- ② 利用者に楽しんでもらえる施設行事として、お花見会をはじめ、合同打上げ会（焼き肉会）・かき氷納涼会・新年会を開催しました。行事には多くの利用者、職員が参加し交流を深めることができました。
- ③ 感染対策として、通所時の検温や体調確認など、基本的な感染予防対策を継続して実施しました。また、陽性者が発生した際には、接触者の状況確認を行うとともに、必要に応じて抗原検査を実施するなど、感染拡大の防止に努めました。

年間を通じて、利用者 9 名、職員 5 名の計 14 名の感染が確認されましたが、BCPに基づく「感染者発生時対応フローチャート」に沿って迅速かつ適切に対応した結果、施設内での感染拡大を防止することができました。

- ④ 災害発生時の連絡体制および帰宅困難時の対応として、利用者およびご家族・グループホーム等に対し、生活状況や緊急連絡先、通所・通勤経路の再確認を行いました。併せて、災害備蓄品の点検や寝具類一式の整備を行い、帰宅困難者の発生を想定した炊き出し訓練も実施しました。

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024年度	2023年度	前期比	2024年度	2023年度	前期比
就労継続A型	15人	17人	110.0%	95.0%	115.8%	86.7%	76.8%	112.9%
就労継続B型	45人	60人	133.3%	137.2%	97.2%	92.9%	102.2%	90.9%
合 計	60人	77人	127.5%	126.7%	100.6%	91.4%	95.8%	95.4%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2024年4月～3月平均

- ① 利用者獲得に向け、関係機関との連携を強化し、施設見学および現場実習の受け入れを積極的に行った結果、新たに6名の新規利用者につながりました（施設見学者数：116名、実習希望者数：16名）。
一方で、療養等を理由に5名が退所となりました。また、他事業所との併用利用や、利用者の高齢化・障がいの重度化等による利用日数の減少も影響し、定員充足率は、引き続き目標の100%以上を維持したものの、利用率は目標100%に対して91.4%にとどまりました。
- ② 個別支援計画に基づき、利用者が安定して安心した生活を送れるよう、地域の社会資源であるグループホーム等の情報を調査・整理し、必要に応じて情報提供を行いました。
また、自立した社会生活の実現を目指し、生産活動に必要な知識や技能の習得を希望する利用者に対しては、資格取得を奨励しました。資格取得にかかる費用については「利用者社会参加支援金」を活用し、手話検定4級・5級（A型2名）、クリーニング師（A型1名）の資格を取得しました。
- ③ 生活困窮者就労訓練事業について、福祉関係機関との連携のもと、1名を受け入れ、就労の機会を提供しました。その後、12月にパート職員として採用しました。
- ④ 福祉事業のサービス活動増減差額は、+2,729千円（予算比26.1%、前期比29.9%）となりました。

(3) 就労支援事業

- ① 大型ホテルの閉館に伴い、事業の継続性と安定性を確保するため、新規ホテル2件と契約を締結し、客室規模で1.2倍程度の作業量を確保しました。さらに、継続的な値上げ交渉や契約形態の変更を進め、収益確保に取り組んだ結果、作業収益は前年対比で2.8%のプラスとなりました。
生産ラインの欠員については、省人化設備の導入に合わせて人員体制を見直し、2名を配置替えしたほか、部門間の応援体制を継続するなど、生産体制の効率化に努めました。
- ② エネルギー価格や原材料の高騰を踏まえ、入荷量の変動に応じて生産体制を適時見直しました。具体的には、一斉休日やライン別の縮小稼働などを実施し、コストの低減に取り組みました。
また、取引先の要件に合わせて、適時集配ルートを見直し、効率的なルート編成を実施しました。さらに、大型ホテルの閉館に伴い、1ルートを解約したことにより、年間800万円の配送経費を削減することができました。
- ③ 生産性の向上と省力化・省人化を目的として、ピロケース投入機及び自動検査装置の設置工事を進め、2025年2月初旬に完了しました。この結果、業務の効率化が実現しました。

また、「省エネ設備等導入促進事業（2024 年～2026 年）」において、乾燥機 100 kg およびトンネル式乾燥機など、関連性の高い複数設備をグルーピングし、総合評価落札方式による一般競争入札を実施しましたが、いずれの業者も仕様要件を満たさなかったため、入札は不調に終わりました。

その後、グルーピング内容および仕様を見直し、入札方法を一般競争入札に変更して再度入札を実施した結果、予算および仕様に合致する機器を購入することができました。これらの機器は 2025 年 3 月に設置が完了しました。

- ④ 就労支援事業のサービス活動増減差額は、+45,055 千円（予算比 1878.9%、前期比 153.6%）となりました。

3-4 リハビリー・おおぞら

今年度は、利用者一人ひとりの声を大切にするとともに、施設利用を通じて明日への活力と充実感を得られるよう思いやりを持った声掛けと作業指導を心がけました。

また、障がいの重度化・高齢化などを踏まえ、個々の意向をもとに利用時間や利用日数など柔軟に対応できる体制を整え、誰もが末永く利用しやすい環境づくりに努めました。

施設運営では、最重要課題である定員充足を強化するため、担当職員を外勤業務に配属し、支援学校など関係機関に対して、積極的なPR活動を行いました。

就労支援事業では、衛生的で安全な製品を提供するため、必要な設備と衛生作業マニュアルを整備し、これらの取り組みを通じて取引先と信頼関係を構築しました。また、市場の動向を注視しつつ、安定した事業運営の維持に尽力しました。

(1) 施設運営

① 季節ごとに利用者と職員がともに楽しみながら交流を深めることを目的として、恒例のイベント（合同打ち上げ焼肉会、かき氷納涼会、新年会）を開催し、利用者の意欲の維持・向上に努めました。

② 職員のスキル向上を目的として、実践的な内部研修会を実施しました。福祉部門では、各種制度の内容や相談支援技術に加え援助の基本的な姿勢や考え方を学び、就労部門では、スキルアップに必要な生産知識や省エネ対策などを学びました。また、育成計画に基づいて資格取得や検定試験の受験を奨励し、社会福祉士（職員1名）、全国手話検定準1級（職員1名）を取得しました。

③ 利用者と職員間のコミュニケーションを活性化するため、互いの立場を理解し、それぞれの発言に傾聴する姿勢と相手に対して思いやりを持つことの大切さを周知しながら、明るく風通しの良い職場づくりに取り組みました。

また、エルダー・メンター制度においては、適切な人員を配置し、人材の育成と定着に取り組みました。

④ 感染症および非常災害など不測の事態に備え、BCPの更新を適宜行うとともに、施設の組織体制を明確化し、利用者および職員の安全を確保するための取り組みを進めました。これにより、就労支援事業の円滑な運営と福祉サービスの安定的な提供を支える体制を整えました。

⑤ 利用者の定員充足に向けた取り組みとして、関係機関との連携や情報収集、さらに法人・各施設のPR活動に担当職員を配属し、教員向けに福祉サービスに関する事業ごとの研修会を開催するなど、学校行事にも積極的に参加しました。

軽作業部門は、重い障がいがある利用者の個性を活かせる作業形態を基本に、創作品づくりなどの活動を展開しました。また、福祉ショップや各イベントに出品し、来店され創作品を手取るお客様とのふれあいを通じながら、社会参加の意義を感じてもらうことができました。

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024 年度	2023 年度	前期比	2024 年度	2023 年度	前期比
就労継続 A 型	34 人	29 人	86.3%	82.4%	104.7%	76.5%	73.5%	104.1%
就労継続 B 型	60 人	58 人	100.8%	111.7%	90.2%	83.8%	90.2%	92.9%
就労移行	6 人	2 人	40.3%	16.7%	241.3%	36.7%	11.7%	313.7%
合 計	100 人	89 人	92.3%	96.0%	96.1%	78.5%	79.8%	98.4%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2024年4月～3月平均

- ① 障がいの重度化や高齢化等に伴い、利用者一人ひとりの意向をもとに、作業内容や作業時間について柔軟に対応しました。これにより、未永く施設を利用できる環境づくりを整えました。
- ② 7月と8月に全職員（42名）を対象とした手話技術レベルアップ研修会を実施し、聴覚に障がいのある利用者をはじめとする多様な障がい特性への対応ができる体制づくりを進めました。
- ③ 利用者獲得に向け、特別支援学校やハローワーク、相談支援事業所などの関係機関へ積極的に出向き、情報共有を図るとともに、当施設の特徴や実績をPRしました。
これらの取り組みにより、2024年度は新規利用者として就労移行利用者1名、B型利用者2名の計3名を受け入れることができ、新年度より3名（B型利用者）の新卒者獲得につながりました。一方で、一般就労や他事業所および高齢者施設への移行により計8名が退所しました。また、利用者への声掛けや見守りを通した細かな気づきを大切に、相談援助や個別支援計画等に反映するなど、利用率向上に向けた支援を行いました。
利用者の高齢化や障がいの重度化、持病の悪化などによる利用控えなども影響し、定員充足率は目標値100%に対し実績92.3%、利用率は目標値85%に対し実績78.5%となりました。
- ④ 利用者の短期および長期目標の達成に向けた支援状況を個別支援計画作成会議などで検証し、個々の課題や意向の変化に配慮しながら、技術指導とともに必要な生活環境の改善を盛り込んだサポート体制を整えました。これらの取り組みにより、B型利用者2名が2024年度よりA型利用者として採用されました。また、就労移行利用者1名、B型利用者1名が希望する企業に就職することができました。
- ⑤ 福祉事業のサービス活動増減差額は、+31,789千円（予算比127.5%、前期比150.3%）となりました。

(3) 就労支援事業

- ① 生産の効率化を図るため、「単能工」から「多能工」への転換とともに入荷から出荷までの一連の工程における渋滞ポイントを無くし、部署単位で全体の作業進捗を把握するなど、品目ごとに円滑な処理工程を維持する体制づくりを進めました。
- ② 生産部門間で常に情報共有し、必要な人員の協力体制を維持しながら部門全体の生産性向上に取り組みました。

- ③ クリーニング事業の省エネルギー化を目的とした「省エネ設備等導入促進事業（2024 年～2026 年）では、関連機種ごとにグループ分けした内容に基づき、総合評価落札方式で入札を実施しました。しかし、参加業者の提案が仕様要件を満たさなかったため、入札は不調となりました。そのため、市場の動向や生産現場の現状を踏まえ、より有効性の高い選択肢を検討した上で、入札方法を一般競争入札に切り替え、再度入札を執行しました。その結果、予定機種の導入が実現しました。

また、2025 年度に予定している連続洗濯機導入については、「省エネ設備投資促進支援事業」の補助金活用を前提とし、それを踏まえた導入スケジュールを基に準備を進めました。

- ④ 取引先に衛生的で安全な製品を安定的に提供するため、部門ごとに衛生作業マニュアルを作成しました。また、洗剤メーカーの協力を得て、殺菌剤を適正に使用しながら、日本病院寝具協会が示す衛生基準値を満たす工程管理を維持しました。
- ⑤ 就労事業のサービス活動増減差額は、+34,110 千円（予算比 253.2%、前期比 51.2%）となりました。

3-5 クリーニング事業部

2024年度は、ホテルの稼働率が高く円安やインバウンドの影響も重なり、ホテル市場が良好に推移しました。営業活動においても、値上げを中心とし粘り強い営業と新規物件の獲得、不採算取引の見直しなど目標達成に向け積極的に活動を行いました。クリーニング事業全体の売上げとしても、予算比および前期比を共に上回ることができ、就労支援事業に大きく貢献することができました。

- ① リハビリー・クリーナーズの売上実績は、予算比 107.4%、前期比 103.5%となりました。
ホテルリネン・ホテル産業ではホテルの稼働率が高く、売上げを順調に伸ばすことができました。

5月に大型ホテル閉館により売上減となりましたが、既存ホテルの値上げと新規ホテル2件の契約を行い、ホテルリネン・ホテル産業の減少をカバーすることができました。

また、会社産業のスポーツクラブ物量縮小やレジャーホテルの閉鎖・ホームクリーニングの個人消費低迷など、厳しい状況は続きましたが、物価高騰・最低賃金改定等の経済状況について理解いただき、料金見直しを継続的に行うことができました。

- ② リハビリー・おおぞらの売上実績は、予算比 99.9%、前期比 99.9%となりました。

主力である病院寝具リネン等については、各病院の慢性的なスタッフ不足により、入院患者数が増えないとともに、病院の閉院・統合等もあり、病院寝具や病衣の売上低迷につながっている状況でした。しかし、新規大口物件の受託に加え、病院寝具・白衣リース、入院セットも含めて契約料金の見直しと不採算取引に対する契約内容の変更などを計画的に進め、売上げを確保しました。

また、胆振管内の総合病院2件との取引が3月末をもって終了となりますが、大口白衣リースを新規受託するとともに、その他新規物件の獲得に向け、積極的な営業活動を行いました。

- ③ ウェルプラザやまはな会社産業売上実績(店舗を除く)は、予算比 108.1%、前期比 101.3%となりました。

大型ホテルの閉館により被服クリーニングの大幅な売上減となりましたが、新規ホテルの被服クリーニングや新規病院のユニフォームクリーニングを受託し、会社産業の値上効果等も合わせ予算を上回ることができました。

- ④ 印刷販売の売上実績は、予算比 92.9%、前期比 75.8%となりました。

スポット契約で周年記念関連やカタログ等を確実に受注するとともに、ホームページ関連でのサーバー増強工事を受注できましたが、見込んでいた農機具メーカーのカタログ印刷、学校関連の退官記念誌や卒業生への記念品を受注できず、予算・前年実績共に上回ることができませんでした。

しかし、値上げ等の営業活動を積極的に行った結果、売上げから外注費を除いた利益については、予算比 130%となりました。

⑤ 各事業の売上実績およびクリーニング事業の値上実績

●クリーニング事業 売上実績

単位：千円

	予 算	実 績	予算比	前期比
リハビリー・クリーナース	645,089	693,010	107.4%	103.4%
リハビリー・おおぞら	1,019,490	1,018,421	99.9%	99.9%
ウエルプラザやまはな	35,880	38,772	108.1%	101.3%
合 計	1,700,459	1,750,203	102.9%	101.3%

●クリーニング事業 値上実績

単位：千円

	件 数	実績（概算）
リハビリー・クリーナース	40 件	27,338
リハビリー・おおぞら	40 件	13,059
合 計	80 件	40,397

●印刷事業 売上実績

単位：千円

	予 算	実 績	予算比	前期比
合 計	50,000	46,426	92.9%	75.8%

- ⑥ 集配ルートは、働き方改革関連法の施行（2024 年問題）に伴い、労働時間・拘束時間の制約があることから、物量や取引先の要件等に合わせ、適時ルートの見直しを行い、効率的かつ合理的なルートの編成を行いました。

また、大型ホテルの閉館に伴い、1 ルートを解約したことから、年間 800 万円の配送費減となりました。

- ⑦ リネン消耗品の値上げに伴い、適時、見積り合わせや取引先との交渉を行い、品質は維持しつつ安価なリネン品への変更を行うとともに、顧客の要望等に合わせたリネン品の品質向上を図るため、サンプル品を取り寄せ、品質と価格を比較検討し、リネン品の選定に努めました。

- ⑧ 一般クリーニング品工場入庫管理システム「W a s h M a n」の導入が決定し、具体的な運用方法や現在のリネン基幹システムとの連動、運用に合わせたカスタマイズなどの打合せや各部門との調整を進め、テスト運用を経て、3 月より一部稼働しました。

また、郵便料金改定（10 月）に伴い、郵送不要な電子請求システム「楽楽明細」への理解と協力を求めた結果、累計 321 件（全体の 44.7%）の取引先が郵送から電子請求に切り替え、業務の効率化および経費の節減につながりました。

- ⑨ クリーニング事業の基幹システムの各種データを活用し、適正価格の分析や値上交渉に係る情報の収集、未収金の管理、契約条件の見直しを行うなど、適正な事業運営に努めました。

- ⑩ 風通しの良い職場づくりを促進するため、日常的に声掛けを行うなどコミュニケーションを図るとともに、毎日の朝礼等で売上状況や取引先とのトラブル、市場状況、社会情勢の変化について伝達するなど、情報共有を図りました。

- ⑪ 人材育成を図るため、中堅職員研修や幹部職員研修、コミュニケーション活性化に関する内部研修に多数参加させるとともに、組織づくりや I C T 化に関する外部研修会へ 4 名参加させ、従業員の知識・技術向上に努めました。

- ⑫ ハウスキーパーの慢性的な人員不足を解消するため、勤務時間や勤務日数など柔軟な労働条件での勤務体系を構築し、働きやすい環境整備を行いました。

- ⑬ 災害時における配送事故等に備え、各ルートとの連絡網を整備するとともに、冬期間の雪害を念頭においたルートの見直しを行いました。

また、感染症拡大防止を図るため、マスクの着用、消毒の徹底、感染物の取扱いなど、日常的に指導を行っています。

3-6 リハビリ・エイト

利用者主体のサービス提供を心掛け、多様化するニーズに対応するため職員一人ひとりが多角的な視点で「考動」ができる対応力と福祉力を身に付けることを心掛け、サービスの更なる充実を図りました。

2024年度は、前年比で生活介護事業の開所日を増やすことで、延べ利用者数が293名増加し利用率は100.1%と目標を達成することができました。また、安心して利用できる環境を提供するため、新型コロナウイルスが2類から5類に移行後も感染症対策を継続し、感染者が発生した際には臨時の療養室を設置し、法人全体で療養者の支援に当たりました。

また、地域における福祉拠点・社会資源として選ばれる施設を目指し積極的に情報発信を行いました。

(1) 施設運営

- ① 年々、多様化する利用者ニーズに、質の高いサービス提供ができるよう、施設内自主研修を毎月実施するなど、職員資質の向上に努めました。また、利用者一人ひとりの目標や目的に合わせた日中活動（運動、学習、レクリエーション等）の提供に努め利用者満足度の向上を目指しました。
- ② 「気付く力」を全職員が磨き、利用者の想いや、新たな発見を職員間で情報共有し、チーム支援に積極的に活かすなど、支援力向上に努めました。また、施設内自主研修（グループワーク等）において、強度行動障害などの支援困難利用者の障がい特性について認識を深めるなど、知識や専門性の向上に努めました。
- ③ 支援会議やチーム会議などで全職員が発言する機会を作るなど、意見を出し合える環境を整備しました。これにより、利用者支援に係る「報告・連絡・相談」を適時行えるようになり、職種、経験を問わず自由に活発な意見交換ができる風通しのよい職場になりました。また、エルダー・メンター制度を活用して、技術面やメンタル面でのサポートを実施することで、人材定着と育成に努めました。
- ④ 2024年度における介護事故は7件（移動・移乗中にバランスを崩しての転倒が5件、発作による転倒が1件、利用者の他害行為による事故が1件）、ヒヤリハットは50件の報告がありました。事故報告およびヒヤリハットについては、毎月の職員会議で改善策を検討し、改善状況の報告を行うなど、重大事故につながらないように努めました。
- ⑤ 新型コロナウイルスの感染対策として、日々のバイタルチェック等を継続実施しましたが、入所利用者19名・職員9名が感染しました。感染者発生時には施設内消毒の徹底を図るとともに、臨時の療養室を設置するなど感染拡大防止に努めました。なお、エイト入所者18名、エルフィンホーム入所者11名、美しの森入所者6名の計35名が新型コロナウイルス感染症により臨時の療養室を利用し、法人全体で療養者支援を行いました。
- ⑥ BCPについては、非常災害時に活動が停止しないよう、適時見直しを行い、都度職員への周知徹底することで計画の実行性を高めました。
- ⑦ 職員の資質や介護・支援技術向上のため、外部研修19名、法人内部研修に11名が参加したほか、施設内自主研修を12回実施（発表者:職員13名・チーム発表:4回）しました。また、職員のキャリアアップに資する資格取得に意欲的に取り組み、職員1名が国家資格である介護福祉士に合格しました。

(2) 福祉事業

- ① 地域における福祉拠点・社会資源としての認知度を高め、地域から選ばれ必要とされる施設づくりを積極的に進めた結果、2024年度は224名の施設見学の受け入れを行いました。

紹介先	見学対応	体験自習	新規利用	備考
特別支援学校	15人	5人	—	実習者は2年生
相談支援事業所	9人	2人	—	
その他	200人	—	1人	

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024年度	2023年度	前期比	2024年度	2023年度	前期比
生活介護	40人	58人	145.0%	144.4%	100.4%	100.1%	103.2%	96.9%
施設入所	40人	40人	100.0%	100.0%	100.0%	93.0%	95.1%	97.7%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2024年4月～3月平均

- ② 将来の福祉の現場を支える人材の確保を進めるため、職場体験や実習を積極的に受け入れました（2024年度実績：23名）。

機関	社会福祉士	介護福祉士	インターンシップ	備考
高校	—	—	17人	北広島西高校
専門学校	—	—	1人	—
大学	1人	—	3人	—

- ③ 美しの森と合同での「フライングディスク大会」や、近隣の児童養護施設を招待しての「エイト夏祭り」並びに北広島市内福祉施設の交流事業「ボッチャ交流大会きたひろCUP」への参加など交流イベントを中心に、季節に応じたイベントも開催し利用者の満足度向上に努めた結果、生活介護の利用率は100.1%となりました。また、壁画アーティスト指導のもと、利用者も参画し、ダイルールの壁画アートを制作しました。
- ④ 生活介護事業のサービス提供プログラムの一つとして、19名の利用者が菓子箱や弁当箱の組立作業などを行いました。生産活動に参加することで、施設利用の促進と社会参加の機会を提供しました。
- ⑤ 福祉サービス向上のため、福祉職員と看護師並びに管理栄養士参加の個別支援会議で、利用者一人ひとりのニーズや心身の状況に合わせた栄養マネジメントを含めた支援方針を決定し、利用者それぞれに適した支援の実施に努めました。
- ⑥ 近年増加している強度行動障害の利用者に対して、適切な支援を提供するため、11名の職員が強度行動障害支援者養成研修会の受講を修了し、知識や支援力向上に努めました。また、利用者一人ひとりに適した支援シートを作成して、全職員が支援に携わることで障がい特性を学び、適切なケアに努めました。
- ⑦ エルフィンホーム（GH）や他施設の就労継続支援事業等を併用利用している利用者の支援にあたり、合同ケア会議を開催して心身の状況や課題等の情報共有を行い更なる支援充実に努めました。また、他法人の施設見学を行い、事業運営や地域交流の取り組みについて学びました。

(3) 事業検討会議答申の具現化

リハビリ・エイトの空きスペースの活用方法について、エイト新規事業準備室および法人本部と協力し、具現化に向け準備を進めています。

検討内容	取り組み状況
相談支援事業所の移設	・相談支援専門員の養成（法人全体を対象） 養成研修へ3人の申込みを行い2人が受講しました。
居宅介護支援事業所の開設	・主任ケアマネジャーの採用 2025年度採用に向けて準備を進めたが、全国的に主任ケアマネジャーが不足しており、開設時期の見直しも含め検討しました。
機能訓練スペース （体育館・地域交流の場）の開設	・補助金申請（基盤整備事業の活用）（法人本部と連携） 令和6年度（2024年度）社会福祉施設等整備補助金（国補正分）申請を行い、73,425千円の交付決定を受けました。 総事業費：106,700千円 補助対象事業費：97,900千円（補助金額：73,425千円） 補助対象外事業費：8,800千円

3-7 美しの森

利用者の高齢化・障がいの重度化するなかで、「介護事故ゼロ」を目標に、障がい特性等を把握するとともに、日々の事故報告およびヒヤリハット報告を検証し、施設全体でリスクマネジメントを徹底するなど、安全な介護サービスの提供に取り組みました。

また、コロナウイルスなどの感染症においては、継続して感染対策を行ってきましたが、依然感染力は強く利用者および職員が複数名感染しました。これまでの経験を活かし、徹底した施設内消毒や利用者の体調管理、日中活動および活動エリアの制限等を実施し、感染拡大を防ぎ安定した施設運営に努めました。

スプリンクラー設備導入事業については、「令和 6 年度障がい者福祉施設等スプリンクラー整備補助金」が不採択となったことから、今期の実施は見送りました。また、次年度以降の設備導入については、市場価格、補助金額、財務状況を総合的に勘案して進めていきます。

就労支援事業におけるパン製造販売については、原材料が高騰するなどの影響はありましたが、原価率を抑えた仕入れに努め、現状の販売価格を維持しました。清掃作業については、相談支援事業所や支援学校等に対し実習および利用を働き掛け、新規利用者の獲得に努めました。

(1) 施設運営

① 風通しの良い職場環境を作るため、各種会議等で支援の進捗状況や支援方法などを積極的に共有しました。またチーム会議やリーダー会議で自由な意見交換を行うとともに、報連相についてのグループワーク研修を行うなど、コミュニケーションの活性化に努め、働きやすい職場づくりと『人材』の定着を図りました。

② 自然災害対策と感染症対策のBCPの内容理解や改善を目的とした研修・訓練を実施しました。防災対策等の取り組みとして、入所・通所利用者合同の避難訓練を実施したほか、各居室の電気配線の清掃の実施など、火災対策にも取り組みました。また、緊急時対応としてAEDの使用法、心臓マッサージ、人工呼吸などの実技研修や冬期間の災害対応研修を行うなど、継続して安定した施設運営、サービス提供ができる体制づくりに努めました。

感染症については、新型コロナウイルス感染症に25名（利用者12名、職員13名）、インフルエンザ感染症に職員2名が感染しましたが、施設内消毒の徹底、抗原検査の実施、居室待機などの対策を講じ、感染拡大防止に努めました。

③ 利用者の高齢化・重度化に伴い、転倒事故などの発生リスクが高まる傾向にあることから、介護事故の予防（リスク管理の徹底）に努めましたが、事故報告は7件、ヒヤリ・ハット報告は37件でした。主な事故要因は、利用者単独での転倒事故が多発したため、利用者に対し、歩行時や乗車時の際の注意点を周知するとともに、職員には、ミーティングや各会議をとおして利用者の日々の体調変化への気付き、声掛け・見守りの徹底を図ることを意識させ、転倒事故防止に努めました。

④ 施設における給食提供は、健康・安全・交流・心の豊かさなど多面的な価値を持つ重要なものと位置づけています。利用者の健康維持や疾病予防および身体状況に合わせた栄養マネジメントに取り組むとともに、利用者を交えた給食会議で意見交換を行い、提案された意見や希望をメニューに反映させるなど、安心・安全で季節感を感じられる楽しい給食提供に努めました。

- ⑤ 相談支援事業所および支援学校等からの施設見学や施設実習を受け入れた結果、入所者 1 名、通所者 2 名のサービス利用につながりました。

また、教育活動を通じた地域貢献の一つとして、専門学校や大学等の教育実習生 11 名を受け入れました。

紹介先	見学対応	体験実習	新規利用	備考
特別支援学校	10件	3人	—	
相談支援事業所	2件	1人	1人	
その他	14件	2人	2人	
計	26件	6人	3人	

- ⑥ リハビリリー・エイトと合同でフライングディスク大会を開催し、利用者および職員の交流を図りました。また、施設間での利用者支援の方法や情報交換等を行い、支援技術の向上に努めました

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024年度	2023年度	前期比	2024年度	2023年度	前期比
生活介護	40人	67人	167.5%	180.0%	93.1%	103.5%	97.8%	105.8%
就労継続B型	20人	15人	75.0%	100.0%	75.0%	42.0%	48.4%	86.8%
合 計	60人	82人	136.0%	150.0%	90.1%	83.0%	81.3%	102.1%
施設入所	30人	29人	96.7%	100.0%	96.7%	95.3%	93.8%	101.6%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2024年度平均

※登録者数については、長期療養者などを精査し登録解除している

- ① 生活介護事業において、利用者の障がい状況などに配慮するとともに、利用者の意見等を取り入れたミニゲームや季節行事の装飾作りなどの日中活動に取り組みました。その他にも施設行事として夏祭り、花火大会、焼き芋会、クリスマス会、新年会などを行いました。
- また、地域開放行事として、ひょっとこ踊りやフォークユニットを招き、利用者と地域住民の交流の場を設けるなど、利用者の日中活動の充実に努めました。
- ② 利用者と施設の意見交換の場として懇談会を毎月開催し、食事や生活などに対する意見・要望を聞き、施設生活を送るうえで利用者の方々に満足してもらえるようなサービス提供に努めました。
- ③ 日々の支援およびミーティング等を通し、利用者の体調や身体状況等の情報共有を図るとともに、個別の介護支援方法や声掛け・見守りなど、統一した支援の定着を進め、施設全体のスキルアップに努めました。
- ④ 施設内自主研修を 11 回実施し、利用者支援における介助時の事故防止の注意点やその時々状況から起こりうる事故の予測などを話し合い、介護支援技術および事故などを予測する力の向上に努めました。
- ⑤ 近隣のグループホームや計画相談事業所などからの見学・利用希望者を積極的に受け入れるとともに、レクリエーションおよび入浴サービス、生産活動、趣向を凝らした行事などを提供し、利用者満足度の向上に努めました。

また、職員の業務の見直しや利用者の希望利用日の調整等、多くの利用希望者を受け入れる体制づくりに努め、経営基盤の強化を図った結果、生活介護事業の利用率は、103.5%と目標を達成しました。

- ⑥ 福祉事業のサービス活動増減差額は、+21,524 千円（予算比 78.8%、前期比 101.8%）となりました。

（３）就労支援事業

- ① 利用者が地域で生活していくうえで必要な一般常識や生活スキルの向上を目的に、ソーシャルスキルトレーニング（以下、「ＳＳＴ」という。）を実施しました。ＳＳＴでは、清掃訓練に必要な技能を身につける他、礼儀作法をとおして言葉使い、ものづくりをとおして集中力を高め、ゲームをとおして観察力・記憶力を高める訓練などを行いました。
- ② パン製造作業において、季節に合わせた企画、商品アイテム等を利用者と一緒に立案し、就労に対する楽しみなどを体感できるよう、利用者個々の特性に合わせた作業支援を行いました。また、新型コロナウイルスの影響による販売の停止等（５日間）がありましたが、近隣の学園祭、老人施設での運動会行事や法人夏まつりで販売するなど売上増に努め、売上げ目標を達成しました。
- ③ 多機能型事業所の強みを活かし、生活介護事業の利用者にもポップ作成やパン包装、パン販売などをとおして、就労意欲向上につながるような作業体験の機会を提供しました。
- ④ 清掃作業については、適時、利用者の作業場所や作業内容の変更等を行い、一人ひとりの作業技術の向上および作業の幅を広げることに努めました。また、各清掃作業場の作業量や利用者状況に応じて、作業体制を組み立てるなど、作業の効率化に努めました。
- ⑤ 就労事業のサービス活動増減差額は、+231 千円（予算比 725.0%、前期比 245.8%）となりました。

3-8 セルフさっぽろ／ウェルプラザやまはな

利用者獲得に向け積極的に見学や実習を受け入れ、利用希望者の多様なニーズに応えるため受け入れ体制を整え対応したことで、8名の新規利用につながりました。利用者支援については、利用者・家族の意向を反映させた個別支援計画に添って、利用者がそれぞれ自分のペースでステップアップできるような支援を心がけました。

就労支援事業について、つきさむ事業所は取引業者との交渉継続により作業確保や単価見直しに努めてきましたが、受注数量の変動等により値上げの効果が売上げに反映されず、収益は予算を達成することができませんでした。また、やまはな事業所については、大型ホテルの閉館後の補填分として新規ホテルの被服クリーニング等を受託し、作業量が確保できたことにより、収益を維持することができました。

(1) 施設運営

- ① 4月に「お花見会」として構内の桜の木の下で団子を提供したほか、土曜日開所として、6月「焼き肉会」、7月「札幌市民防災センター見学」、10月「札幌市水道記念館見学」、12月「クリスマス会」、1月「餅つき会」を開催するなど、利用者の満足度向上につながるイベントの企画・提供に努めました。また、やまはなでは、7月に「焼肉昼食会」を初めて単独で実施しました。
- ② 全職員への虐待防止の内部研修を7月と2月に実施し、動画視聴も取り入れることで虐待や身体拘束の実態と防止対策についての理解を深めるとともに、職員一人ひとりの意識向上を図りました。
- ③ 7月の土曜日開所で「札幌市民防災センター」を見学し、各種災害の模擬体験を通じて防火・防災に関する知識や災害時の行動について学びました。また、つきさむ、やまはな、両事業所で、9月と3月に避難訓練を実施し、防災意識の向上を図りました。
- ④ 支援学校や中学校、相談事業所等と連携し、今年度は見学24件、実習18件の受け入れを実施するなど、利用者の獲得に向けて積極的な取り組みを進めたことにより、8名の新規利用者獲得につながりました。
- ⑤ 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会の運営に参画し、札幌市社会福祉協議会や札幌市内の身障関係事業所と連携した事業の推進に努めるとともに、11月に札幌市の委託事業「合同災害対応訓練」、12月に「BCP机上訓練研修会」など、協議会主催行事に参加しました。
- ⑥ 生活困窮者就労訓練事業について、やまはな事業所で7月に札幌市生活就労支援センターの担当職員と、コロナ禍以降の利用再開に向け打合せを行ったことで、11月からの1名利用につながりました。また、3月につきさむ事業所で見学と就労体験の希望者を1名受け入れたことにより、25年度の利用につながりました。
- ⑦ 選ばれる施設を目指し、多様な利用者ニーズに応えられるよう、利用者・家族の意向に添った支援に努めるとともに、継続的な利用者獲得につなげるため、支援学校や関係事業所と連携し見学や実習を受け入れました。また、就労支援事業については作業確保や単価見直し等を進め、収支の安定化に取り組むとともに、新たな取り組みとして、オリジナルバッグを主力商品としたインターネット販売を開始することとしました。
- ⑧ クリーニング事業部と連携を図り、5月末に閉館した大型ホテルの補填分として、新規ホテルの被服クリーニング等を受託することができました。また、今後のやまはなについては現状の業態を維持し、店舗改装や販促活動の強化など、積極的な取り組みによる収益改善を図りながら、クリーニング業務を継続していくこととしました。

(2) 福祉事業

○ つきさむ事業所

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024年度	2023年度	前期比	2024年度	2023年度	前期比
就労継続B型	74人	87人	117.6%	117.6%	100.0%	97.7%	96.9%	100.8%
就労移行	6人	1人	16.7%	50.0%	33.4%	25.9%	41.7%	62.1%
合 計	80人	88人	110.0%	112.5%	97.8%	92.3%	92.7%	99.6%

○ ウェルプラザやまはな

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024年度	2023年度	前期比	2024年度	2023年度	前期比
就労継続A型	10人	7人	70.0%	70.0%	100.0%	65.3%	62.5%	104.5%
就労継続B型	10人	10人	100.0%	110.0%	90.9%	86.7%	96.7%	89.7%
合 計	20人	17人	85.0%	90.0%	94.4%	76.0%	79.6%	95.5%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2024年4月～2025年3月平均

- ① 「セルフ菜園」については、草取り、水やり、収穫等の世話を利用者が交代で行い、作物を育てる楽しさや収穫した時の喜びを通じて食の大切さを体感し、感謝の気持ちを育てる取り組みを進めました。また、給食会議で収穫物の説明等を行い、給食で提供することにより、「食育」への理解を深められるよう取り組みました。
- ② 利用者との日々のコミュニケーションを大切にしながら支援を行ってきた結果、就労継続支援B型では定員充足率・利用率ともに高い水準を維持することができました。しかし、就労移行支援および就労継続支援A型は定員割れの状態で推移していたため、全体としては両事業所ともに目標とする数値には届きませんでした。
- ③ 個別送迎については送迎対象者や送迎ルートを検討し利用を促しましたが、今すぐではないが今後利用を考えたいとの意見が多く、今年度は送迎希望者が2名から増えず現状維持となりました。
- ④ 保護者や相談支援事業所などと情報共有を図りながら、利用者の希望や意向を丁寧に聞き取り、利用者のニーズや自己決定を尊重した個別支援計画の作成とサービス提供を行いました。
- ⑤ SSTは利用者が誰でも受けられるように、日常生活の充実を目指す初級、コミュニケーション能力を高める中級、就職を目指す上級の3コースに分けて、それぞれの目標に合わせたプログラムを提供しました。
- ⑥ やまはな事業所では、利用者の専門知識や作業技術の向上を目的として、洗い・仕上げ・包装部門に分けて職員が講師となり内部講習を行い、個々のスキルアップを図りました。

(3) 就労支援事業

○ つきさむ事業所

- ① 収益の安定化に向け、前年度の取引データ等を基に、取引業者への連絡や情報収集を行い、既存物件の継続的な受注と新規物件の確保に取り組みました。

- ② 縫製経験のあるパート職員を新たに2名採用したことで、作業効率が向上し、安定した生産体制を継続的に維持することができました。
- ③ 今年度も助成金を活用して老朽化したミシンの更新を予定していましたが、みずほ福祉助成財団の助成金が不採択となったことから、12月に更新が必要な3台を自己資金で整備しました。
- ④ 縫製・軽作業の作業単価については、もともと単価が低く大幅な値上げは難しいですが、業者との粘り強い交渉を継続したことにより見直しが進み、仕様変更があるものについて10～15%程度（約300千円）の値上げを行いました。
- ⑤ 利用者の縫製技術向上を目的として、安定した仕上がりで作業スピードアップが継続できるよう指導するとともに、新たな作業への挑戦にも努めました。また新たに縫製スキルトレーニングを毎月開催し、ミシン未経験や興味がある利用者に対して、ミシンの取り扱いの基礎から縫製の基礎練習までトレーニングを行いました。
- ⑥ 縫製部門の職員が作業全体の流れを把握し指導できるように、担当部署で行っている作業以外の新たな技能習得に取り組みました。
- ⑦ 新たな取り組みとして、セルプの縫製技術を生かしたオリジナルバッグを主力商品とするインターネットショップを開設することとしました。開設後は、販売状況を見ながら商品ラインナップを拡充し、より多くのニーズに応えられるショップを目指します。

○ ウェルプラザやまはな

- ① クリーニング事業本部会議等で情報を共有し、今後のホームクリーニングの需要と対応、それに合わせた機械設備や運営体制について検討し、店舗改装によるイメージアップやSNSを利用した販促活動の強化など、積極的な取り組みによる収益改善を図りながら、クリーニング業務を継続していくこととしました。
- ② 店舗の営業時間短縮による勤務時間や日数の調整をしながらシフト体制を見直すとともに、店舗担当者が休暇等で不在になる時には工場担当職員が店舗業務の対応をするなど、工場との連携を強化し効率的な体制維持に取り組みました。
- ③ スポット受注の取引先には、配送の際に新たな依頼がないか都度確認し、新規物件の獲得につながるよう積極的に働きかけました。
- ④ クリーニング事業部や札幌市のマッチング事業所と適時連携したことにより、クリーニング事業部から新規ホテルの被服クリーニング物件、元気ジョブから3件の新規スポット物件を、またつきさむ事業所の得意先からの紹介で1件の新規物件を受注しました。

3-9 エルフィンホーム／地域福祉推進室

事業安定化のため早期満床を目標に、相談事業所や日中活動事業所などと連携を図り、見学や体験入居、短期入所を積極的に受入れ、丁寧な説明に心がけてグループホームの新規利用につながるよう取り組みました。2月に1名が新規利用となりましたが、3月に家庭の事情から1名が退所となり、定員充足に至りませんでした。

安定した事業運営を行うため6月に職員1名を採用しましたが、世話人の欠員による影響から職員の業務負担が増加したため、派遣労働者を受け入れて業務負担の軽減を図りました。また、質の高いサービスが提供できるよう、職員および支援スタッフには内部・外部研修への参加を推進してスキルアップに努めました。

入居者の意向を取り入れて、楽しんでもらえるようなイベント（自治会旅行やボウリング大会、新年会など）を実施しました。

短期入所事業においては、新規利用やリピーターの定着につなげるため、相談事業所と連携を図って受け入れを積極的に行い、利用者の状態に応じたサービス提供に努めました。

（1）施設運営

- ① 自治会懇談会において利用者の意向を取り入れ、6月に自治会ボウリング大会、9月には自治会旅行（栗山方面）や花火大会、2月に新年会などのイベントを実施しました。また、6月の施設合同打上会や8月の北海道リハビリー夏まつりの移動支援、Fビレッジハーフマラソンへの参加申込手続きの代行や参加準備など、利用者が様々なイベントに参加できるよう支援を行いました。

日付	行事内容	参加者
6/8	2024年度施設合同打上	利用者 18 人 職員 3 人
6/9	Fビレッジハーフマラソン参加	参加者 2 人（陽だまり、すずらん）
6/30	自治会ボウリング大会	利用者 21 人 賛助会員 7 人 職員 6 人
8/25	北海道リハビリー夏まつり	利用者 20 人 職員 3 人
9/8	自治会旅行（栗山方面）	利用者 22 人 職員 6 人
9/19	エルフィン花火大会	利用者 20 人 職員 5 人
10/30	ハロウィン会	利用者 44 人
12/24	クリスマス会	利用者 44 人
1/12	北広島市「はたちのつどい」	参加者 1 人 ※参加支援
2/3	節分	利用者 44 人
2/8	新年会「アサヒビール園はまなす館」	利用者 32 人 賛助会員 9 人 職員 6 人

- ② 地域福祉活動への推進として、北広島市きた高齢者支援センター「地域たすけあい会議」に参加し、7月に能登半島地震被災地の現状について情報交換を行うとともに、8月には「西の里地区夏まつり」の会場設営の手伝い、10月は西の里小学校の「車いす体験学習」に参加しました。

また、利用者と地域の結び付きを深めるため、町内会のイベント（一斉清掃、焼肉会、夏祭りなど）に参加して地域との交流を図りました。

日付	行事内容	参加者
5/12	広栄・中央町内会一斉清掃	利用者 16 人 職員 5 人
7/7	広栄町内会親睦焼肉バーベキュー会	利用者 17 人 職員 6 人
8/10～11	連合町内会夏祭り	利用者 17 人 職員 1 人
9/1	中央町内会親睦会	利用者 9 人 職員 2 人
10/20	中央町内会一斉清掃	利用者 12 人 職員 2 人
10/27	広栄町内会一斉清掃	利用者 9 人 職員 3 人
11/13	西の里地区冬の交通安全街頭啓発	職員 2 人

- ③ 働きやすい職場環境を意識して、世話人と個別面談を行い「年収の壁」による日数制限のほか、複数ユニットの勤務や早・遅番勤務などの労働条件について意向を聞き取り、各ユニットの状況を踏まえて労働条件を見直しました。また、公共交通機関のダイヤ改正に伴う就業時間の調整なども行いました。

世話人の人材確保については、ハローワークや折込みチラシ、公共施設への求人掲示、関係者からの紹介などにより 2 名が新規採用となりましたが、体調不良や諸事情により 2 名が退職したため、欠員充足に至りませんでした。

- ④ 新型コロナウイルスの感染は、職員 3 名、利用者 14 名、世話人 5 名が「陽性」となり、感染した入居利用者はエイトで隔離療養を行うとともに、各ユニットでは抗原検査の実施や体調確認等を行い、感染拡大防止に取り組みました。

隔離者については、職員が毎日（朝、昼、夕）の食事配膳や検温、体調確認などのほか、コミュニケーションを取って孤立感を抱かないよう支援に努めました。

- ⑤ 年 2 回の避難訓練については、火災を想定した訓練を 10 月に、地震を想定した訓練を 3 月に各ユニットで実施しました。また、非常災害時に入居者の安全確保とサービスの継続性を維持するため、BCP の組織体制や備蓄品等について見直しを行いました。

- ⑥ 研修計画に基づいて、法人内部研修や関係機関主催の外部研修へ職員が積極的に参加するとともに、世話人や夜間支援従事者の勤務状況に合わせて「虐待防止研修」や「感染対策研修」などの内部研修を実施しました。そのほか「所得税定額減税」や「年収の壁」についての情報提供を行い、支援スタッフのスキルアップや情報共有に努めました。

(2) 福祉事業

ユニット名	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			利用率		
			2024 年度	2023 年度	前期比	2024 年度	2023 年度	前期比
えぞりす	10 人	10 人	93.6%	87.2%	107.3%	89.1%	82.5%	108.0%
かわせみ	10 人	10 人						
クローバー	7 人	7 人						
かえで	8 人	7 人						
陽だまり	5 人	4 人						
すずらん	7 人	6 人						
合計	47 人	44 人						

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2024年4月～2025年3月平均

[短期入所]

ユニット名	定員	利用者数	開所日数	延利用日数	稼働率
すずらん	1 人	28 人	365 日	74 日	20.3%

- ① 新規利用者の獲得や将来の入所に向けて、施設利用支援コーディネーターや各事業所と連携を図り、見学（32 件 237 名）や体験入居（4 件 4 名）を受け入れました。

また、短期入所事業については、利用実績のある利用者家族との連絡や相談事業所および法人内施設と連携を図り、延べ 28 名 74 日の利用につながり 1 名が入所となりました。

利用状況については、定員充足率 93.6%、利用率 89.1%となりました。

- ② 利用者の希望に対して丁寧にアセスメントを行い、日中活動の事業所や保護者などと情報共有を図りながら、個別支援計画策定会議や他施設との合同支援会議において個別支援計画の策定を行うとともに計画に基づいたサービス提供に努めました。

- ③ 一人暮らしを希望する利用者に対し、本人・家族・相談事業所の相談員とケース会議（5 月、6 月、9 月）を開いて、それぞれの意向を確認するとともに、地域生活を送る上で必要な社会資源を調査し、将来の移行に向けた検討を行いました。

また、一人暮らしに関するアンケート調査を 3 月に行い、希望者の意向や思いを確認するとともに、将来に向けた地域移行支援の参考にします。

- ④ 高齢化や障がいの重度化が進んでいる利用者に対して、将来的にグループホームでの生活が難しくなる状況を踏まえ、障がい者入所施設や高齢者施設などから情報収集を図り、家族への状況報告と相談対応に努め、実施機関と連携を取りながら円滑な施設移行につながるよう支援を行いました。

8 月と 1 月には、札幌市の特別養護老人ホームへ見学に出向き情報交換を行うとともに、家族への情報提供に努めました。

- ⑤ 福祉事業のサービス活動増減差額は、△4,808 千円（予算比△186.2%、前期比△750.1%）となりました。

3-10 ポプルス

利用者の生活状況や希望、障がいの程度を把握するとともに、医療やリハビリテーション、日常生活のサポート、就労支援などの情報収集に努め、地域でその人らしく安心した生活ができるサービス等利用計画の作成に取り組みました。また、地域のサービス事業所と利用者との良好な関係づくりなどに努め、地域との信頼構築に取り組みました。

(1) 施設運営

- ① 利用者の思いや希望を十分に引き出すとともに、生活環境や福祉サービス等を勘案し、前向きに生活が送れるような助言を行うなど、サービス等利用計画の作成に努めました。
- ② 各事業所、関係機関と情報交換を行い、福祉制度、社会資源や新たに開設した事業所などのサービス状況や定員の空き状況などの情報収集に努め、障がいのある方一人ひとりに適したサービスの情報提供を行いました。
- ③ セルフプランでサービス提供を受けている利用者に対し、ポプルスが行うサービス等利用計画への切り替えを促し、いつでも相談できる体制を構築し、自分らしく安心して生活を送れるよう取り組みました。
- ④ 相談支援事業所ポプルスのリハビリ・エイトへの移設については、エイトおよび法人本部と連携を図り、2026年4月の移設を目指して、準備を進めています。
- ⑤ 福祉事業のサービス活動増減差額は、△229千円（予算比 173.0%、前期比 177.6%）となりました。

事業	2024年度 (契約者数)	2023年度 (契約者数)	契約増加数	前期比
相談支援	166人	172人	6人減	96.5%

※新規1名、契約解除7名

4. 地域に向けた社会貢献の取り組み状況

4-1 地域における公益的な取り組み

(1) 生活困窮者支援

○ 生活困窮者自立支援法に基づく「認定就労訓練事業」を実施しています

長期離職者、ニートやひきこもり、心身に課題があるなどにより、直ちに一般就労が難しい、または就労に困難を抱える生活困窮者に対し、職場体験実習や就労の機会等の提供を通じて、社会復帰に向けた支援を行っています。

(2) 地域に向けた事業展開

○ A E D（自動体外式除細動器）を設置しています

法人の全施設にA E Dを設置し、緊急時や不測の事態等に迅速に対応できる、安心・安全な環境づくりに努めています。また、職員が適時普通救命講習を受講し、救命効果の向上を図るとともに、地域住民への情報発信として、日本救急医療財団「財団全国マップ」、北広島市「きたひろA E Dステーション」、札幌市「さっぽろ救急サポートセンター」に登録しており、A E Dの設置を広く公表しています。

○ 災害時に福祉避難所を開設します

大規模災害発生時において、一般の避難所で生活することが困難な方々の避難場所として施設内に「福祉避難所」を開設し、地域の障がい者や高齢者等の要配慮者を受け入れます。安心して過ごせるよう、非常食・災害備品の備蓄や訓練を行っています。（北広島市と「災害時における福祉避難所の設置および運営に関する協定」を締結）

○ 地域と連携した防災協力体制づくりに取り組んでいます

- ・地域の医療機関、高齢者施設との3者による災害時の相互応援体制を定めています。
- ・地域の連合町内会の自主防災計画において、災害時に法人から必要な支援を行うことを定めるなど、地域住民・事業所と連携した相互支援体制を構築しています。

※道央圏の救急医療用ヘリコプター「ドクターヘリ」のランデブーポイント（場外離着陸場）として、施設構内を提供しています。

(3) 地域の社会的ニーズへの支援

○ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた支援を行っています

冬期間に離職を余儀なくされる季節労働者の通年雇用を促進するため、北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会と連携した就業支援を行っています。北広島市内に在住する季節労働者に対して、他業種で働く不安の解消や適性判断等を行うこと目的とした職場見学会や職場体験実習の機会を提供しています。

(4) 地域の社会資源等とのネットワークづくり

○ 「地域たすけあい会議」に参画し、地域の包括的ケア体制の構築に取り組んでいます

西の里地域で働く福祉分野等の専門職による地域住民同士の助け合いの仕組みづくりや地域の包括的ケアなどについて、協議・実践するための地域会議「西の里たすけあい会議」に参画しています。年間を通じて、地域住民に向けた研修会や総合学習（車椅子体験学習等）を開催しているほか、高齢者住宅等の除雪活動、地区夏まつりの準備協力、近隣高校が行うボランティア活動への協力などを実践しています。

(5) 地域とのふれあい交流活動～施設開放行事の開催

○ 地域交流イベント「北海道リハビリー夏まつり」を毎年開催しています

地域の障がい者、高齢者、住民との交流を目的とした施設開放イベントを毎年開催しています。地域の年中行事として定着したこのイベントには、地域の活動団体等の出演・出展・出店のほか、地元中学校の吹奏楽演奏の場の提供や大学生の会場設営ボランティアの参加などを通じて、地域コミュニティの形成と活性化を図っています。毎年、1,000名を超す地域の皆さんの参加・来場を得ています。

4-2 その他の地域貢献活動

(1) 地域福祉の推進に向けたネットワーク活動

○ 地域の自立支援協議会へ参加しています

地域の障がい福祉関係者等による相互連携や支援体制等に関する協議を行う場として設置された「障がい者自立支援協議会」に委員として参加しています。地域の現状や課題等の情報共有や情報発信、支援困難ケースの検討や障がいの理解を促進するための学習会の開催、障がい福祉計画に対する意見提出など、地域福祉の推進と課題の施策化に向けたネットワーク活動を実践しています。

○ 北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業へ参加しています

徘徊または徘徊の恐れのある認知症高齢者や障がい者が行方不明になったときに迅速に対応し、早期発見・保護することを目的とした「北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業」に参加（登録）しています。行政、警察署等の地域の関係機関との連携の下に、情報の相互提供や捜索協力などの支援を行っています。

（２）地域に向けた事業展開

○ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催しています

施設内にコミュニティ・カフェを設置し、地域住民が日常的に集うことができる居場所づくりに取り組んでいます。また、地域住民参加型の施設開放行事の開催や町内会行事への参加などの相互交流を通じて、地域コミュニティを生み出す活動に取り組んでいます。

○ 施設周辺の環境美化活動を実施しています

地域の環境美化に資する取り組みとして、春と秋の年２回、施設構内から周辺国道歩道にかけて、ゴミ拾い清掃活動を行っています。また、グループホームにおいては、町内会の一斉清掃や花壇整備活動へ参加しています。

（３）地域の相談支援ニーズへの対応

○ 特定相談支援事業所における各種相談への対応

特定相談支援事業所では、地域の障がい者が抱える様々な相談に対する窓口として、障がい福祉サービスの利用の有無に関わらず、障がい者やそのご家族からの一般的な相談にも広く応じ、必要な情報の提供や助言等を行っています。事業所が有する機能と専門性を地域に還元すべく、サービス等利用計画に関わる計画相談支援のみならず、地域の障がい者の様々な相談ニーズに対応しています。

（４）地域に向けた福祉教育活動

○ 地域の学校からの職場実習やインターンシップ等を受け入れています

- ・地域の大学や専門学校から、実習生や研修生、インターンシップ等を多数受け入れています。
- ・北海道教育委員会が実施する公立学校教員向けの「初任段階教員研修事業」の受け入れ施設として事業に協力しています。施設内において、障がい者福祉に関わる講義研修や就労支援実習、介護実習等の研修を提供しています。
- ・地域の小中学校の総合学習授業への参加や職業体験・施設見学などを積極的に受け入れるなど、学校との連携による教育支援を行っています。

5. 理事会・評議員会等

開催日	審 議 内 容 等
6月12日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席理事数 7名） 決議事項 ①2023 年度事業報告（案） ・ 事業報告書(案)、事業報告書別冊(案)(附属資料)、第5期中期事業計画(案)(2021 年度～2023 年度報告) ②2023 年度計算書類及び財産目録 ・ 決算書説明資料、第 60 期決算報告書、会計監査報告書、社会福祉充実残額算定 ③2023 年度監事監査報告 ・ 監査報告書 ④夏期賞与の支給について（職員・契約職員） ⑤施設設備整備の実施計画 ・ ピロケース投入機及びリネン類裏面検査装置の導入事業（クリーナース） ⑥2024 年度定時評議員会の招集について ①事業報告 ②計算書類及び財産目録 ③監事監査報告 ④事業計画及び予算 ①退任役員へ支給した特別功労金の事後承認について ②役員等及び評議員報酬等支給規程の改定について ③会計監査人の再任について 報告事項 ①理事長からの業務報告（理事長専決事項） ②常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告 ③事業実績（仮計算書類）（2024 年 2 月～ 3 月・ 4 月） ④運営状況報告（2024 年 3 月～ 6 月） ⑤監事監査報告 ・ 2023 年度第 4 四半期監事監査報告（セルブ・美しの森・ポプルス） ⑥建設委員会からの報告（省エネ設備等導入促進事業（クリーナース・おおぞら）） そ の 他

開催日	審 議 内 容 等
6月27日	【定時評議員会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席評議員数 8名） 報告事項 ①2023 年度事業報告 ・ 事業報告書、事業報告書別冊（付属資料）、第5期中期事業計画（2021 年度～2023 年度報告） ②2023 年度計算書類及び財産目録 ・ 決算書説明資料、第 60 期決算報告書、会計監査報告書、社会福祉充実残額算定 ③2023 年度監事監査報告 ・ 監査報告書 ④2024 年度事業計画及び予算 ・ 事業計画書、事業活動予算書及び資金収支予算書、第 6 期中期事業計画 決議事項 ①退任役員へ支給した特別功労金の事後承認について ②役員等及び評議員報酬等支給規程の改定について ③会計監査人の再任について そ の 他
9月13日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席理事数 7名） 決議事項 ①施設設備整備の実施計画について ・ 省エネ設備等導入促進事業に係る更新機器導入計画（グループ分け等）の変更 ・ 省エネ設備等導入促進事業－グループ①－(1)（再協議）（クリーナース・おおぞら） ・ 省エネ設備等導入促進事業－グループ①－(2)（再協議）（おおぞら） 報告事項 ①理事長からの業務報告（理事長専決事項） ②事業実績（仮計算書類）（2024 年 5 月～7 月） ③運営状況報告（2024 年 6 月～9 月） ④施設設備整備の実施報告について（業務用ガス冷暖房設備の更新事業（セルブ）） ⑤建設委員会からの報告及び入札の結果報告について ・ 建設委員会からの報告について（2024 年 6 月、8 月） ・ 入札の結果報告について（省エネ設備等導入促進事業（クリーナース・おおぞら）） ⑥スプリンクラー設備の導入事業の見送りについて（美しの森） そ の 他 報告 ・ 法人内で発生した事案について

開催日	審 議 内 容 等
12月10日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席理事数 6名） 決議事項 ①年末賞与の支給について ②建設委員会の設置及び委員の選任並びに権限委任について 報告事項 ①2024 年度上半期事業状況及び決算概況について ②地域共生事業の実施について（エイト） ③監事監査報告 ・エイト・エルフィンホーム ・2024 年度上半期事業実施状況及び決算概況/クリーナース・おおぞら ④理事長からの業務報告（理事長専決事項） ⑤常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告（2024 年 6 月～12 月） ⑥事業実績（仮計算書類）（2024 年 8 月～10 月） ⑦運営状況報告（2024 年 9 月～12 月） ⑧札幌市による社会福祉施設に対する指導監査の実施結果と改善状況（美しの森） そ の 他 報告 ・ 刑務所出所者等の雇用に係る協力雇用主の登録について
12月19日	【評議員懇談会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席評議員数 7名） 報告事項 ①2024 年度上半期事業状況及び決算概況について そ の 他 報告 ・ 地域共生事業の実施について

開催日	審 議 内 容 等
3 月 18 日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席理事数 7 名） 決議事項 ①2025 年度事業計画(案)及び予算(案)について（2024 年度決算見込みを含む） ②評議員候補者の提案について ③評議員選任・解任委員の選任及び委員会の招集について ④規程等の改定について ・就業規則等の改定 ・運営規程の改定 （クリーナース、おおぞら、エイト、エルフィン、美しの森、セルブ、ポプルス） ⑤役員等賠償責任保険の契約内容の決定について ⑥労働組合からの要求に対する回答について ⑦当座貸越（借越）契約及び所内預金の保全に係る債務保証契約の締結について ⑧施設設備整備の実施計画について ・リハビリー・エイト工場棟の改修工事 （エイト） 報告事項 ①理事長からの業務報告について（理事長専決事項） ②常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告について ③事業実績（2024 年 11 月～2025 年 1 月） ④運営状況報告（2024 年 12 月～2025 年 3 月） ⑤施設設備整備の実施報告について ・一般クリーニング品工場入出庫管理システム導入事業 （クリーニング事業部） ・ピロケース投入機及びリネン類裏面検査装置の導入事業 （クリーナース） ・省エネ設備等導入促進事業 トンネル式乾燥機一式 （おおぞら） そ の 他 報 告 ・インターネットショップ開設について（セルブさっぽろ） ※議案第 1 号の 2025 年度事業計画（案）で報告

6. 職員研修等

※主な研修等を記載

開催日	研修名	主催者等
4月1～2日	新人職員研修	法人本部
12日	北海道サービス管理責任者研修（基礎）	特定非営利活動法人きなはれ
23日	給与支払者向け定額減税説明会	札幌南税務署
24日	社会福祉法人北ひろしま福祉会視察	北広島市
5月16～17日	北海道強度行動障害支援者養成研修（基礎）	社会福祉法人はるにれの里
6月10日～7月31日	介護職員専門研修Ⅰ	北海道社会福祉協議会
〃	接遇・マナー基礎研修	北海道社会福祉協議会
12日	エルダー・メンター制度導入支援研修①	北海道社会福祉協議会
24、28日	電子申請説明会	新さっぽろ年金事務所
25～8月30日	新任相談援助職員研修	北海道社会福祉協議会
7月5日	北海道サービス管理責任者研修（基礎）	特定非営利活動法人きなはれ
10～8月30日	経理担当者・管理者のための基礎研修	北海道社会福祉協議会
〃	施設・事業所のためのリスクマネジメント研修	北海道社会福祉協議会
〃	メンタルヘルスケア研修	北海道社会福祉協議会
16～18日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
17日	これからはじめるデジタル化の進め方	札幌南法人会
17～30日	相談支援従事者（前期）研修（初任者研修）	特定非営利活動法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク
23～25日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
7月25日	新任職員研修	法人本部
26日	中堅職員研修	法人本部
29日	経営実践研修	北海道社会福祉法人経営者協議会
30～31日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（初任者コース）	北海道社会福祉協議会
31日	外国人労働者雇用労務責任者講習	北海道労働局
6日	相談援助職員専門研修	北海道社会福祉協議会
6～7日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（チームリーダーコース1）	北海道社会福祉協議会
7～9日	相談支援従事者（中期）研修（初任者研修）	特定非営利活動法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク
8日	社員が辞めずに活躍する組織づくり	札幌南法人会
9～9月30日	看護師専門研修	北海道社会福祉協議会
〃	経理担当者のための実務研修	北海道社会福祉協議会
23日	札幌市要約筆記者 現任者研修会	公益社団法人札幌市身体障害者福祉協会
8月24日	普通救命講習Ⅰ	北広島市消防本部

開催日	研修名	主催者等
8月27日	第1回社会就労センター施設長・職員研修会	北海道社会就労センター協議会
28日	社会福祉法人の経営課題とDX	TKC全国社会福祉法人経営研究会
9月2～4日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
4日	コミュニケーション活性化に資する研修	法人本部
9月5日～10月30日	新任介護職員研修②	北海道社会福祉協議会
6日	エルダー・メンター制度導入支援研修③	北海道社会福祉協議会
10～10月31日	介護・保育施設の感染症対策研修	北海道社会福祉協議会
〃	苦情・クレーム対応セミナー	北海道社会福祉協議会
12日	社会福祉施設BCP（業務継続計画）運用研修	北海道社会福祉協議会
14～15日	北海道福祉サービス第三者評価調査者養成研修（障がいコース）	神内商店合同会社
15～17日	社会福祉主事資格認定通信課程（春期コース）	全国社会福祉協議会中央福祉学院
17日	札幌刑務支所職業訓練見学&出所者等雇用支援セミナー	これワーク北海道
〃	社会福祉法人経営者セミナー	社会福祉法人経営者協議会
〃	幹部（管理）職員研修	法人本部
17～19日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
26～27日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（中堅職員コース）	北海道社会福祉協議会
〃	北海道サービス管理責任者研修（実践）	特定非営利活動法人きなはれ
〃	コミュニケーション活性化に資する研修	法人本部
10月8～10日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
10～11日	北海道強度行動障害支援者養成研修（基礎）	社会福祉法人はるにれの里
10～11月29日	高齢者・障害者虐待防止セミナー	北海道社会福祉協議会
〃	社会福祉法人監査研修	北海道社会福祉協議会
15～17日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
16日	部門長等職員研修	法人本部
16～12月6日	介護職員専門研修Ⅰ②	北海道社会福祉協議会
17日	北海道福祉サービス第三者評価調査者養成研修（障がいコース）	神内商店合同会社
〃	安全運転管理者講習	北海道公安委員会
22～24日	強度行動障害支援者養成研修（実践）	株式会社エンビト
24～25日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（チルダーJ-2）	北海道社会福祉協議会
26～27日	介護福祉士実習指導者講習	一般社団法人北海道介護福祉士会
〃	精神保健福祉士実習指導者講習会	星槎道都大学
28日	副安全運転管理者講習	北海道公安委員会
10月31～11月1日	日本セルフセンター縫製部会研修会	特定非営利活動法人日本セルフセンター

開催日	研修名	主催者等
11月2日	北海道福祉サービス第三者評価調査者養成研修（障がいコース）	神内商店合同会社
5日	ニーズに応じた就労支援に関する視察研修会	北海道社会就労センター協議会
〃	アセスメントについてより深める研修会	石狩障がい者就業・生活支援センターのいける
9～10日	介護福祉士実習指導者講習会	一般社団法人北海道介護福祉士会
11日	身体障害者福祉施設職員研修会	北海道身体障害者福祉施設協議会
11～12月27日	摂食嚥下ケア研修	北海道社会福祉協議会
15日	サービス管理責任者意思決定支援研修（専門別コース）	特定非営利活動法人きなはれ
15～28日	相談支援従事者研修（前期）研修（初任者研修）	特定非営利活動法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク
23～24日	介護福祉士実習指導者講習会	一般社団法人北海道介護福祉士会
24日	第2回市民交流フォーラム	北広島市市民環境部市民生活課
12月3～5日	相談支援従事者研修（中期）研修（初任者研修）	特定非営利活動法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク
〃	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
5～6日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（管理者コース）	北海道社会福祉協議会
7～8日	介護福祉士実習指導者講習会	一般社団法人北海道介護福祉士会
10日	防災救命研修会	北広島市危険物安全協会
12日	指定障害福祉サービス事業者等に対する集団指導	石狩振興局保健環境部社会福祉課
〃	防災救命研修会	北広島市危険物安全協会
20日	被災施設への職員派遣訓練	札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会
23～1月10日	発達障がい講座 S T A N D A R D	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる
1月14～16日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
17日	「人材育成」と「スキルアップ」研修	さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール
27日	知的障害者の性や恋愛・結婚等についてのシンポジウム	PwCコンサルティング合同会社
28～30日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	株式会社エンビト
2月1～3日	社会福祉主事資格認定通信課程（秋期コース）	全国社会福祉協議会中央福祉学院
4～5日	相談支援従事者研修（後期）研修（初任者研修）	特定非営利活動法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク
7～8日	北海道強度行動障害支援者養成研修（基礎）	特定非営利活動法人ノビレ・オガサ・ゆめこころんく東川
10～12日	社会福祉主事資格認定通信課程（秋期コース）	全国社会福祉協議会中央福祉学院
12、14日	ケアラー支援関係機関職員等研修	北海道社会福祉協議会
14日	就労支援を考える	就業・生活相談室からびな
19日	地域で考える就労選択支援	石狩障がい者就業・生活支援センターのいける
21日	性に関する職員研修会	札幌みなみの杜高等支援学校
2月22～23日	北海道強度行動障害支援者養成研修（実践）	特定非営利活動法人ノビレ・オガサ・ゆめこころんく東川
2月25日	身体障害者福祉施設研究セミナー	北海道身体障害者福祉施設協議会

開催日	研修名	主催者等
2月27～28日	全国社会就労センター長研究会	全国社会就労センター協議会
3月1～3日	社会福祉主事資格認定通信課程（秋期コース）	全国社会福祉協議会中央福祉学院
9日	第3回市民交流フォーラム	北広島市市民環境部市民生活課
19日	2025年JAPAN QUALITY研修会	(株)JAPAN QUALITY
25～27日	強度行動障害支援者養成研修（実践）	株式会社エンビト
26日	高齢者・障がい者虐待防止研修	北広島市

拠点別の職員研修参加者数（合計:延べ406人）				
法人本部 91人	クリーナース 42人	おおぞら 46人	クリーニング事業部 25人	エイト 97人
美しい森 34人	セルフさっぽろ 45人	地域福祉推進室 21人	ポプルス 5人	

7. 行事・事業等

※主な行事・事業等を記載

開催日	行事・事業内容	
4月 1日	辞令交付式・新卒入社式	
4日	星槎道都大学 第47回入学式	法人本部
6日	札幌日本大学高等学校 第38回 入学式	法人本部
〃	札幌日本大学中学校 第22回 入学式	法人本部
8日	北広島西高等学校 第42回 入学式	法人本部
10日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
12日	2025年度新卒採用法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
15日	クリーンデー（施設構内環境整備運動）	セルブ
18日	就労移行支援プログラム（SST）	クリーナース
19日	一般競争入札（一般クリーニング品工場入庫管理システムの導入）	クリーニング事業部
〃	エイト自治会懇談会	エイト
20日	ワッフル喫茶（土曜日開所）	エイト
22日	北海道社会福祉協議会 北海道リハビリ視察	北広島施設
25日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
26日	北海道赤十字血液センター移動献血車	北広島施設
〃	お花見会（レクリエーション）	セルブ
27日	就労移行支援プログラム（SST）	美しの森
〃	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
5月2～9日	平岡公園梅まつり お花見（レクリエーション）	クリーナース
3日	銭湯行事（祝日開所）	エイト
4日	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
8日	澁谷税理士による税務確認	法人本部
9日	春のクリーンデー（施設構内環境整備運動）	エイト、法人本部
12日	広栄町内会・中央町内会 春の一斉清掃	エルフィン
15日	クリーンデー（施設構内環境整備運動）	セルブ
16日	第1四半期監事監査（野村監事、佐藤監事）	法人本部
〃	就労移行支援プログラム（SST）	クリーナース
18日	就労移行支援プログラム（SST）	美しの森
20～22日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
21日	省エネ設備等導入促進事業プロポーザル	クリーナース、おおぞら、法人本部
〃	建設委員会	クリーナース、おおぞら、法人本部
22日	監事協議会	法人本部

開催日		行事・事業内容	
5月	23日	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	セルブ
6月	3日	辞令交付式	法人本部
	8日	合同打ち上げ（焼肉会）	クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
	〃	ＢＢＱイベント（土曜日開所）	エイト
	10日	星槎道都大学「学内企業説明会」	法人本部
	13日	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	クリーナース
	14日	クリーンデー（施設構内環境整備運動）	セルブ
	15日	焼肉会（土曜日開所）	セルブ
	17日	ＨＢＮ合同会社説明会	おおぞら、法人本部
	20日	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	セルブ
	21日	エイト自治会懇談会	エイト
	22日	合同フライングディスク大会（レクリエーション）	エイト、美しの森
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	美しの森
	25日	北星学園大学「学内企業説明会」	法人本部
	26日	クリーンデー（施設構内環境整備運動）	クリーナース、おおぞら
	27日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	28日	建設委員会	クリーナース、おおぞら、法人本部
	29日	ひょっとこ踊り（レクリエーション）	美しの森
	30日	エルフィン自治会ボウリング大会	エルフィン
7月	1日	辞令交付式	法人本部
	7日	広栄町内会主催：親睦焼肉バーベキュー会	エルフィン
	11日	1日福祉職場体験	エイト
	12日	クリーンデー（施設構内環境整備運動）	セルブ
	17日	かき氷納涼会（レクリエーション）	クリーナース
	18日	一般競争入札（ピローケース投入機及びリネン類裏面検査装置の導入事業「新設」）	クリーナース
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	クリーナース
	〃	焼肉会（レクリエーション）	やまはな
	19日	エイト自治会懇談会	エイト
	20日	通所利用者 縁日イベント（土曜日開所）	エイト
	〃	札幌市民防災センター見学（土曜日開所）	セルブ
	21日	北海道社会福祉協議会主催：福祉職場説明会	法人本部
	24日	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	セルブ
	25日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン

開催日		行事・事業内容
7月	27日	入所利用者 縁日イベント（土曜日開所） 児童養護施設北光社ふくじゅ園 児童招待 エイト
	30日	内部監査人による内部監査 セルプ、やまはな
8月	1日	就労移行支援プログラム（S S T） クリーナース
	6日	かき氷納涼会（レクリエーション） クリーナース
	7日	総合評価落札方式による一般競争入札（省エネ設備等導入促進事業） クリーナース、おおぞら
	〃	建設委員会 クリーナース、おおぞら、法人本部
	8日	北海道赤十字血液センター移動献血車 北広島施設
	〃	総合防災訓練（火災・日中） 美しの森
	10日	美しの湯（レクリエーション） 美しの森
	15日	クリーンデー（施設構内環境整備運動） セルプ
	16日	エイト自治会懇談会 エイト
	21日	就労移行支援プログラム（S S T） クリーナース
	22日	就労移行支援プログラム（S S T） セルプ
	25日	第48回北海道リハビリー夏まつり
	〃	法人夏まつり（日曜日開所） エイト
	〃	夏まつりへ行こう（日曜日開所） 美しの森
	29日	エルフィン自治会懇談会 エルフィン
	31日	サマーパーティー（レクリエーション） 美しの森
9月	1日	西の里中央町内会主催：町内親睦会 エルフィン
	2日	辞令交付式 法人本部
	4日	監査法人ライトハウスによる会計監査 法人本部
	8日	エルフィン自治会 社会見学 エルフィン
	9日	避難訓練（火災・日中） セルプ
	12日	H B N 合同会社説明会 法人本部
	13日	クリーンデー（施設構内環境整備運動） セルプ
	14日	みんなで壁画アート（レクリエーション） エイト
	〃	美しの湯（レクリエーション） 美しの森
	19日	就労移行支援プログラム（S S T） クリーナース
	〃	エイト自治会懇談会 エイト
	〃	エルフィン自治会 花火大会 エルフィン
	21日	モルック大会（レクリエーション） エイト
	〃	美しの湯（レクリエーション） 美しの森
	24日	西の里地区交通安全協議会主催：秋の交通安全街頭啓発 エイト、法人本部

開催日		行事・事業内容
9月	24日	第2四半期監事監査（野村監事） エイト、エルフィン
	〃	就労移行支援プログラム（SST） セルプ
	26日	エルフィン自治会懇談会 エルフィン
	28日	焼きいも会（レクリエーション） 美しの森
	30日	西の里地区交通安全協議会主催：秋の交通安全街頭啓発 エイト、法人本部
	〃	避難訓練（火災・日中） やまはな
10月	2日	一般競争入札（省エネ設備等導入促進事業） クリーナース、おおぞら
	3日	西の里小学校車いす体験学習（講師派遣） エルフィン
	4日	利用者・職員 定期健康診断 セルプ、やまはな
	5日	みんなで壁画アート（土曜日開所） エイト
	8日	北広島西高等学校主催：キタニシプロジェクト座談会 エイト、法人本部
	9～10日	北広島西高等学校「北海道リハビリ施設見学」 エイト、法人本部
	11日	エイト・法人本部合同BCP訓練 エイト、法人本部
	12日	利用者・職員 定期健康診断 美しの森
	15日	利用者・職員 定期健康診断 エイト、法人本部
	16～17日	利用者・職員 定期健康診断 クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
	18日	エイト自治会懇談会 エイト
	19日	みんなで壁画アート完成イベント（土曜日開所） エイト
	〃	札幌市水道記念館見学（土曜日開所） セルプ
	20日	西の里中央町内会主催：秋の一斉清掃 エルフィン
	21日	北海道石狩振興局による実地指導監査 クリーナース、エイト
	23日	総合防災訓練（火災・日中） クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
	〃	就労移行支援プログラム（SST） セルプ
	24日	秋のクリーンデー（施設構内環境整備運動） エイト、法人本部
	〃	防災訓練（火災・夜間：えぞりす・かわせみ・クローバー） エルフィン
	25日	2025年度新卒採用法人説明・見学会 おおぞら、エイト、法人本部
	〃	防災訓練（火災・夜間：かえで） エルフィン
	26日	かるた大会（レクリエーション） 美しの森
	27日	広栄町内会主催：秋の一斉清掃 エルフィン
	29日	防災訓練（火災・夜間：陽だまり） エルフィン
	31日	総合防災訓練（火災・日中） エイト、法人本部
	〃	防災訓練（火災・夜間：すずらん） エルフィン
	〃	エルフィン自治会懇談会 エルフィン

開催日		行事・事業内容	
11 月	1 日	北広島西高等学校主催：福祉やノーマライゼーションの学習学年発表会	北広島施設
	2 日	ハロウィンイベント（土曜日開所）	エイト
	"	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
	6 日	2025 年度新卒者採用試験	法人本部
	"	インフルエンザ予防接種	セルフ、やまはな
	7 日	澁谷税理士による税務確認	法人本部
	8 日	インフルエンザ予防接種	エイト、法人本部
	10 日	第 24 回札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック 2024）	美しの森
	13 日	西の里地区交通安全協議会主催：冬の交通安全街頭啓発	北広島施設
	"	札幌こども専門学校「学内説明会」	法人本部
	15 日	インフルエンザ予防接種	クリーナース
	"	エイト自治会懇談会	エイト
	16 日	室内レクリエーション（土曜日開所）	セルフ
	19 日	永年勤続表彰等授与式	
	"	インフルエンザ予防接種	おおぞら
	21 日	防災訓練（火災・日中、火災・夜間）	エイト
	"	就労移行支援プログラム（S S T）	セルフ
	22 日	西の里地区交通安全協議会主催：冬の交通安全街頭啓発	北広島施設
	"	インフルエンザ予防接種	エイト、法人本部
	23 日	エイトカジノ（土曜日開所）	エイト
	"	セピア・コード単独ライブ（地域開放行事）	美しの森
	25 日	第 3 四半期監事監査（野村監事・佐藤監事）	クリーナース、おおぞら、法人本部
	26 日	インフルエンザ予防接種	おおぞら
	27 日	炊き出し訓練（地震・日中）	クリーナース
	28 日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	29 日	インフルエンザ予防接種	クリーナース
12 月	2 日	辞令交付式	法人本部
	7 日	ボッチャ大会（土曜日開所）	美しの森
	14 日	就労移行支援プログラム（S S T）	美しの森
	"	クリスマス会（土曜日開所）	セルフ
	16～18 日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
	19 日	就労移行支援プログラム（S S T）	セルフ
	20 日	エイト自治会懇談会	エイト

開催日		行事・事業内容	
12月	21日	クリスマス会（土曜日開所）	エイト、美しの森
	23日	北広島西高等学校主催：全校学習成果報告会	おおぞら、エイト、法人本部
	24日	クリスマス会（レクリエーション）	エルフィン
	27日	セルプ納会	セルプ
	30日	銭湯イベント	エイト
	〃	美しの湯	美しの森
	〃	やまはな納会	やまはな
1月	2日	美しの湯	美しの森
	3日	銭湯イベント	エイト
	4日	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
	6日	はたちの祝い	
	7日	2025 新卒採用法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
	11日	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
	17日	エイト自治会懇談会	エイト
	18日	餅つき会（土曜日開所）	セルプ
	23日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	24日	2025 新卒者採用試験	法人本部
	25日	おおぞら新年会	おおぞら、法人本部
	〃	新年会（土曜日開所）	エイト
	〃	車いすスラローム大会（土曜日開所）	美しの森
	〃	就労移行支援プログラム（S S T）	美しの森
	30日	就労移行支援プログラム（S S T）	セルプ
2月	1日	美しの森新年会（土曜日開所）	美しの森
	3日	節分（レクリエーション）	エルフィン
	6日	クリーナース新年会	クリーナース
	7日	針供養	セルプ
	8日	とんとん相撲大会（土曜日開所）	エイト
	〃	エルフィン自治会新年会	エルフィン
	10日	正職員登用試験（一次）	法人本部
	15日	室内レクリエーション（土曜日開所）	セルプ
	17日	正職員登用試験（二次）	法人本部
	18日	2025 新卒採用者内定式	法人本部
	19日	星槎道都大学「包括連携協定調印式」	法人本部

開催日		行事・事業内容	
2月	20日	北星学園大学「学内企業セミナー」	法人本部
	20日	就労移行支援プログラム（S S T）	セルブ
	21日	エイト自治会懇談会	エイト
	22日	運動会（土曜日開所）	エイト
	〃	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
25～26日、28日		監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
	27日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
3月	1日	北広島西高等学校 第40回卒業式	法人本部
	〃	北ひろしま福祉会主催：社会福祉法人等ポッチャ交流会（第1回きたひろCUP）	エイト
	〃	ひなまつり（土曜日開所）	美しの森
	2日	札幌日本大学高等学校 第36回卒業式	法人本部
	12日	避難訓練（火災・日中）	セルブ
	13～14日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
	14日	星槎道都大学 第44回卒業式	法人本部
	15日	マイナビ主催：福祉・介護業界就職セミナー	法人本部
	〃	札幌日本大学中学校 第20回卒業式	法人本部
	〃	室内レクリエーション（土曜日開所）	セルブ
	19日	総合防災訓練（火災・日中） クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン	
	〃	就労移行支援プログラム（S S T）	セルブ
	〃	避難訓練（火災・日中）	やまはな
	21日	エイト自治会懇談会	エイト
	22日	キッチンカーイベント（たこ焼き）	エイト
	〃	モルック大会（土曜日開所） 美しの森	美しの森
	25日	第4四半期監事監査（野村監事）	美しの森、セルブ、法人本部
	〃	防災訓練（地震・夜間：かえで・陽だまり）	エルフィン
	26日	防災訓練（地震・夜間：すずらん）	エルフィン
	27日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	28日	防災訓練（地震・夜間：えぞりす・かわせみ・クローバー）	エルフィン
	29日	買い物へ行こう（土曜日開所）	美しの森

8. 施設見学の受け入れ状況

月別来所者数

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クリーナース	1	2	7	5	6	6	44	1	3	12	2	10	99
おおぞら	4	36	89	41	13	44	159	37	8	8	0	7	446
エイト	3	4	2	14	2	3	174	19	0	1	0	2	224
美しい森	2	0	7	3	4	6	1	4	5	0	0	2	34
セルプさっぽろ	2	5	10	18	10	5	6	32	5	2	0	2	97
エルフィンホーム	2	34	67	50	22	30	7	3	8	4	4	0	231
合 計	14	81	182	131	57	94	391	96	29	27	6	23	1131

関係機関別来所件数

(件)

	学校	福祉施設	相談事業所	公的機関	一般(企業・名)	その他	合計
クリーナース	6	13	4	6	13	0	42
おおぞら	25	2	3	4	7	0	41
エイト	8	0	5	1	7	0	21
美しい森	12	2	0	0	6	0	20
セルプさっぽろ	18	0	5	2	7	0	32
エルフィンホーム	22	1	1	1	5	0	30
合 計	91	18	18	14	45	0	186

9. 職場実習の受け入れ状況

月別職場実習等受け入れ延べ人数

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クリーナース	1	0	2	2	2	4	2	0	1	2	0	0	16
おおぞら	0	1	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	9
エイト	0	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	0	6
美しの森	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
セルプさっぽろ	1	2	7	4	0	2	1	1	2	0	1	0	21
エルフィン	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	4
合 計	2	3	13	11	4	9	5	2	4	5	1	0	59

実習者の内訳

(名)

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	大学・一般	その他	合計
クリーナース	0	0	0	1	1	0	14	0	16
おおぞら	0	0	1	0	2	2	4	0	9
エイト	0	0	0	0	4	1	1	0	6
美しの森	0	0	3	0	0	0	0	0	3
セルプさっぽろ	0	0	12	0	3	2	4	0	21
エルフィン	0	0	0	0	1	2	1	0	4
合 計	0	0	16	1	11	7	24	0	59

10. 施設設備整備実施報告

(1) 法人本部

金額単位：千円（税込）

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(2) クリーニング事業部

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	20,000	1	18,132	90.7			1	18,132

(3) リハビリリー・クリーナース

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	61,890	3	56,306	91.0			3	56,306

(4) リハビリリー・おおぞら

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	48,499	2	34,686	71.5			2	34,686

(5) リハビリリー・エイト

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(6) 美しの森

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	78,100						0	0

(7) セルプさっぽろ（つきさむ）/ウェルプラザやまはな

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	25,500	1	20,570	80.7			1	20,570

(8) エルフィンホーム/地域福祉推進室

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(9) ポプルス

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(10) 総 計

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
9	233,989	7	129,694	55.4			7	129,694

※ 理事会審議が必要な予算基準額（税込）（建設工事：1000万円、建設工事以外：300万円、物品などの購入又は賃借：500万円、業務委託：300万円）を超える実施事業

※ 実施率＝年度計画に対する実施率

○事業所別実施状況

(2) クリーニング事業部

< 新規 >

単位：千円（税込）

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
一般クリーニング品工場入庫管理システムの導入	20,000	18,132	－	－	2025年1月完了
合 計	20,000	18,132	－	－	

(3) リハビリ・クリーナース

< 新規 >

単位：千円（税込）

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
ピロケース投入機及び検査装置の導入	36,300	34,100	－	－	2025年2月完了
合 計	36,300	34,100	－	－	

< 更新 >

単位：千円（税込）

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
トンネル式乾燥機の更新 ※1 （省エネ設備等導入促進事業）	17,351	－	15,188	－	2025年3月完了
乾燥機（100 kg）の更新 ※1 （省エネ設備等導入促進事業）	8,239	－	7,018	－	2025年3月完了
合 計	25,590	－	22,206	－	

※1 一般競争入札 2024年10月2日実施
契約 2024年10月7日締結

(4) リハビリー・おおぞら

< 更 新 >

単位：千円（税込）

事 業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
全自動洗濯脱水機の更新 （省エネ設備等導入促進事業）	11,660	－	－	11,660	2025年度に 計画変更
トンネル式乾燥機の更新 ※1※2 （省エネ設備等導入促進事業）	28,600	－	27,192	－	2025年3月 完了
乾燥機（100 kg）の更新 ※2 （省エネ設備等導入促進事業）	8,239	－	7,494	－	2025年3月 完了
合 計	48,499	－	34,686	11,660	

※1 当初事業予算額を 17,200 千円から 28,600 千円に変更（2024 年 9 月理事会 承認）

※2 一般競争入札 2024 年 10 月 2 日実施
契約 2024 年 10 月 7 日締結

(6) 美しい森

< 新 規 >

単位：千円（税込）

事 業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
スプリンクラー設備の導入 ※1	78,100	－	－	78,100	2024 年度 見送り
合 計	78,100	－	－	78,100	

※1 令和 6 年度障がい者福祉施設等スプリンクラー整備補助金が不採択のため見送り

(7) セルプさっぽろ（つきさむ）/ウェルプラザやまはな

< 更 新 >

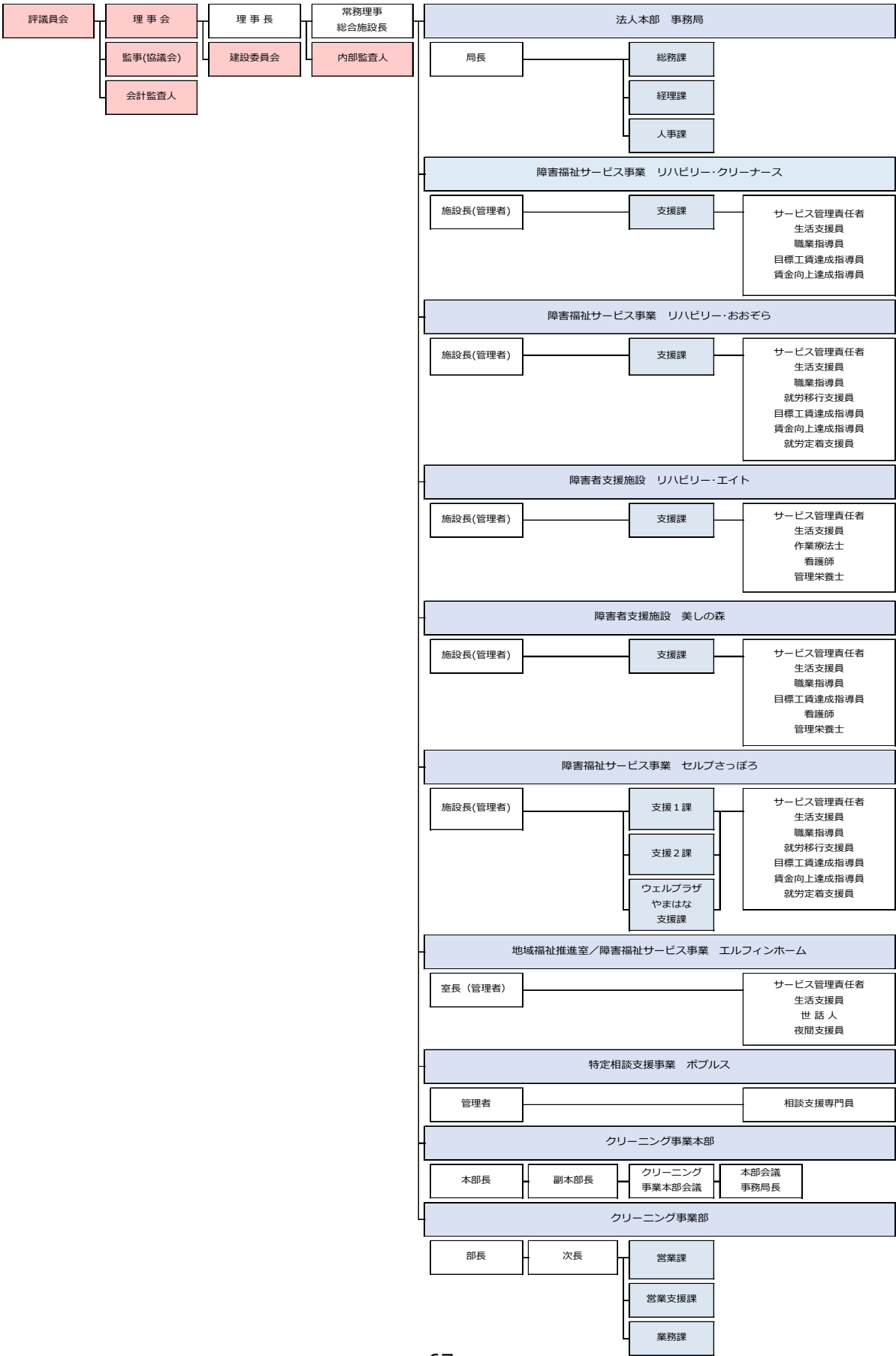
単位：千円（税込）

事 業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
業務用ガス冷暖房設備の更新（つきさむ事業所） ※1	25,500	－	20,570	－	2024 年 7 月 完了
合 計	25,500	－	20,570	－	

※1 当初事業予算額を 16,500 千円から 25,500 千円に変更（2023 年 12 月理事会 承認）

11. 組織図

(2025 年 3 月 31 日現在)



12. 利用者・職員の在籍状況

利用者数および従業員数

(2025年3月31日現在)

	利 用 者										従 業 員 (内福祉事業職員)					合 計
	生 活 介 護	就 労 移 行	就 労 継 続 A 型	就 労 継 続 B 型	施 設 入 所	共 同 生 活 援 助	就 労 定 着	生 活 困 窮 者 就 労 訓 練	小 計	(前 年 末 比)	正 職 員	嘱 託 職 員	契 約 職 員	小 計	(前 年 末 比)	
(1) リハビリ・ クリーナース			17	60				0	77	0	23 (13)	1 (0)	12 (3)	36 (16)	-2 (1)	113
(2) リハビリ・ おおぞら		2	29	58			1		90	-8	45 (16)		12 (4)	57 (20)	-2 (1)	147
(3) リハビリ・ エイト	58				40				98	-1	25 (25)		1 (1)	26 (26)	3 (3)	120
(4) 美しの森	67			15	29				111	-7	24 (24)		1 (1)	25 (25)	2 (2)	141
(5) セルプ さっぽろ		1	7 (7)	97 (10)			3	0	108 (17)	-2 (-1)	17 (17)	1 (1)	2 (2)	20 (20)	0 (0)	128
(6) エルフィン ホーム						44			44	0	4 (4)		2 (2)	6 (6)	1 (1)	51
(7) ポプルス											2 (2)			2 (2)	0 (0)	2
(8) 法人本部											6 (6)			6 (6)	2 (2)	6
総 計	125	3	53	230	69	44	4	0	528	-18	146 (107)	2 (1)	30 (13)	178 (121)	4 (10)	708
(前年末比)	-3	-2	2	-11	-1	0	-3	0	-18		11 (11)	-1 (-1)	-8 (0)	2 (8)	0 (7)	-14
特定相談支援事業所 ポプルス	利用登録者数								166	-6						166

- 備 考
- 1 利用者数は、サービス利用契約に基づく、サービス毎の提供者数で計算している。
 - 2 セルプ利用者の（ ）は、内ウェルプラザやまはな利用者の人数である。
 - 3 施設入所、共同生活援助、児童自立生活援助は、夜間等の支援のため、日中活動および従業員数の人数に重複している。
 - 4 パート職員 129 名は除いている。
(クリーナースのクリーニング取次店従業員およびおおぞらのハウスキーパー等)